

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
1-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町式丁目控水帳	宝暦3.10.-	南久宝寺町式丁目年寄大和屋 長右衛門(印)、月行司小山屋 庄兵衛(印)、同若狭屋勘兵衛 (印)	金井塚与一右衛門殿、 羽津元右衛門殿、田坂 直右衛門殿、ほか1名	原	縦帳	1冊	26.8×20.4		1-1に1-2 を挟み込 み		家数56軒、役数合63役(年寄・会 所各1役は無役)。明暦1・元禄7・ 享保11年時の奥書あり。安永7年 までの付箋多く、家数は最終55軒 になる。差出「年寄大和屋長右衛 門」の上に代替り後の「大和屋長 右衛門」の付箋あり、印は異なる	土地
1-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	絵図(南久宝寺町式丁目)	宝暦3.10.-	南久宝寺町式丁目年寄大和屋 長右衛門(印)、月行司小山屋 庄兵衛(印)、同若狭屋勘兵衛 (印)	—	原	表紙付 絵図	1枚	43.8×106.6 (表紙:21.9 ×13.5)		1-1に1-2 を挟み込 み		1-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
2-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町式丁目水帳	安永7.12.-	南久宝寺町式丁目年寄大和屋 長右衛門(印)、月行司伊勢屋 喜右衛門(印)、月行司奈良屋 丑吉(印)	牧野平左衛門殿、西田 喜右衛門殿、安井新十 郎殿、ほか2名	原	縦帳	1冊	27.3×20.6	表紙虫 損小	2-1に2-2 を挟み込 み	(表紙左上注記)「四」	家数55軒、役数は1-1と同じ。明 暦1・元禄7・享保11・宝暦3年時の 奥書あり。寛政10年までの付箋多 く、家数は最終53軒になる。差出 「年寄大和屋長右衛門」の上に 「布屋喜兵衛」(寛政7年)の付箋 あり	土地
2-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[南久宝寺町式丁目絵図]	安永7.12.-	南久宝寺町式丁目年寄大和屋 長右衛門(印)、月行司伊勢屋 喜右衛門(印)、同奈良屋丑吉 (印)	—	原	絵図	1枚	44.3×117.8	付箋外 れ	2-1に2-2 を挟み込 み		2-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
3-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町式丁目水帳	寛政10.5.-	南久宝寺町式丁目年寄布屋喜 兵衛(印)、月行司奈良屋次郎 兵衛(印)、同総屋与兵衛(印)	田坂直右衛門殿、吉田 勝右衛門殿、安東丈之 助殿、ほか4名	原	縦帳	1冊	27.3×20.6	表紙虫 損小・綴 じ外れ	3-1に3-2 を挟み込 み	(表紙左上注記)「四」	家数53軒、役数は1-1と同じ。明 暦1・元禄7・享保11・宝暦3・安永7 年時の奥書あり。文化12年までの 付箋多く、家数は最終52軒にな る。差出「年寄布屋喜兵衛」の上 に「布屋喜三治」の付箋あり、印 は同じ	土地
3-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[南久宝寺町式丁目絵図]	寛政10.5.-	南久宝寺町式丁目年寄布屋喜 兵衛(印)、月行司奈良屋次郎 兵衛(印)、同総屋与兵衛(印)	—	原	絵図	1枚	44.0×123.6	糊剥が れ	3-1に3-2 を挟み込 み		3-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
4-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町式丁目水帳	文化12.5.-	南久宝寺町式丁目年寄布屋喜 三治(印)、月行司小山屋忠兵 衛(印)、同葛籠屋忠兵衛(印)	大西駒蔵殿、浅羽太膳 殿、丹羽勝左衛門殿、ほ か5名	原	縦帳	1冊	27.3×20.5		4-1に4-2 を挟み込 み	(表紙左上注記)「四」	家数52軒、役数は1-1と同じ。明 暦1・元禄7・享保11・宝暦3・安永7 ・寛政10年時の奥書あり。文政8 年までの付箋多し。差出「年寄布 屋喜三治」の上に「布屋規兵衛」 (文政8年)の付箋あり	土地
4-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[南久宝寺町式丁目絵図]	文化12.5.-	南久宝寺町式丁目年寄布屋喜 三治(印)、月行司小山屋忠兵 衛(印)、同葛籠屋忠兵衛(印)	—	原	絵図	1枚	44.0×127.8		4-1に4-2 を挟み込 み		4-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
5-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町式丁目水帳	文政8.11.-	南久宝寺町式丁目年寄布屋規 兵衛(印)、月行司鍵屋半兵衛 (印)、月行司糸屋忠蔵(印)	安東三郎兵衛殿、弓削 新右衛門殿、吉田勝右 衛門殿、ほか5名	原	縦帳	1冊	27.3×20.4	表紙綴 じ外れ、付 箋外れ	5-1に5-2 を挟み込 み	(表紙左上注記)「四」	家数52軒、役数は1-1と同じ。明 暦1・元禄7・享保11・宝暦3・安永7 ・寛政10・文化12年時の奥書あ り。安政2年までの付箋多く、家数 は最終46軒になる。差出「年寄布 屋規兵衛」の上に「吉野屋新兵 衛」(嘉永4年)の付箋あり	土地
5-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[南久宝寺町式丁目絵図]	文政8.11.-	南久宝寺町式丁目年寄吉野屋 新兵衛(印)、月行司鍵屋半兵 衛(印)、月行司糸屋忠蔵(印)	—	原	絵図	1枚	59.0×128.0	糊剥が れ・付箋 外れ甚 大	5-1に5-2 を挟み込 み		5-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
6-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	北久宝寺町五丁目水帳	安永7.12.-	北久宝寺町五丁目年寄綿屋長 兵衛(印)、月行司小橋屋九郎 兵衛(印)、同綿屋三右衛門 (印)	牧野平左衛門殿、西田 喜右衛門殿、安井新十 郎殿、ほか2名	原	竖帳	1冊	27.4×20.5	付箋外 れ	6-1の冒頭 に6-2を貼 付	(表紙左上注記)「四」	家数24軒、役数合34役7分(年寄・ 会所各1役は無役)。明暦1・元禄 7・享保11・宝暦3年時の奥書あ り。寛政9年までの付箋多く、家数 は最終23軒になる。差出「年寄綿 屋長兵衛」の上に「小西屋源右衛 門」(天明3年)の付箋あり	土地
6-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[北久宝寺町五丁目絵図]	寛政10.5.-	北久宝寺町五丁目年寄小西屋 源右衛門(印)、月行司綿屋長 兵衛(印)、同河内屋吉左衛門 (印)	—	原	絵図	1枚	42.2×72.3		6-1の冒頭 に6-2を貼 付		6-1の次期(寛政10年)に作成さ れた水帳に対応する絵図。名請 人の付箋多し。作成者「年寄小西 屋源右衛門」の上に「戒屋九兵 衛」の付箋あり	土地 絵図
7-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	幸町四丁目水帳	宝永3.10.-	幸町四丁目年寄佐野屋与七郎 (印)、月行司唐金屋兵左衛門 (印)／[奥書・奥印]堀江支配 年番惣年寄住吉屋藤左衛門、 同木屋七郎右衛門、同吉文字 屋三郎兵衛、ほか3名	二本右近右衛門殿、工 藤小左衛門殿、河方勘 兵衛殿、ほか1名	原	竖帳	1冊	27.3×21.1	表紙表 面破損・ 汚損小	7-1に7-2 を挟み込 み		家数9軒、役数合12役(年寄1役は 無役)。享保11年までの付箋多く (例外:延享2年)、家数は7軒にな る	土地 絵図
7-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[幸町四丁目絵図]	宝永3.10.-	幸町四丁目年寄佐野屋与七郎 (印)、月行司唐金屋兵左衛門 (印)、堀江支配年番惣年寄住 吉屋藤左衛門(印)、ほか5名	—	原	絵図	1枚	41.1×106.3		7-1に7-2 を挟み込 み		7-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
8-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	幸町四丁目水帳	寛政10.5.-	幸町四丁目年寄佐野屋徳兵衛 (印)、月行司河内屋清兵衛 (印)／[奥書・奥印]堀江水帳 改惣年寄川崎屋次左衛門、同 野里屋四郎左衛門、同中村左 源太	田坂直右衛門殿、吉田 勝右衛門殿、安東丈之 助殿、ほか4名	原	竖帳	1冊	27.5×20.7		8-1に8-2 を挟み込 み		家数12軒、役数は7-1と同じ。宝 永3・享保11・宝暦3・安永7年時の 奥書あり。文化11年までの付箋多 し。差出「幸町四丁目年寄佐野屋 徳兵衛」の上に「河内屋清兵衛」 の付箋あり	土地
8-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[幸町四丁目絵図]	寛政10.5.-	幸町四丁目年寄佐野屋徳兵衛 (印)、月行司河内屋清兵衛 (印)、堀江水帳改惣年寄川崎 屋次左衛門(印)、ほか2名	—	原	絵図	1枚	44.5×187.5		8-1に8-2 を挟み込 み	(裏書)「幸町四丁目」	8-1に対応する水帳絵図。名請人 の付箋多し	土地 絵図
9	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	南久宝寺町貳丁目丁式申合 帳	嘉永4.2.-／[表 紙]弘化5.1.-	年寄吉野屋新兵衛(印)、小山 屋治兵衛・小山屋忠兵衛・ほか 42名の五人組および立会3名 連印	—	原	竖帳	1冊	26.6×20.7	虫損小	9に9-1を 挟み込み		寛政2年10月の奥書写(年寄扇屋 六右衛門)あり。その後、弘化5・ 嘉永4年に更新	町規約
9-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[南久宝寺町貳丁目丁式申合 帳奥書]	慶応4.閏4.-	年寄金屋伊右衛門	—	写	切紙	1点	26.2×20.0		9に9-1を 挟み込み		9の内容を慶応4年に更新した折 の奥書	町規約
10	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	丁内売券坪割帳 南久宝寺 町貳丁目	嘉永4.2.-改	—	—	原	竖帳	1冊	24.2×16.9				年代は「弘化5年正月改」の上に 貼紙。惣坪数3,334坪5分3厘3毛 1219、売券銀高648貫634匁1厘5 毛。末に安永4年閏12月の「先年 割方之節申合帳写」あり。朱字あ り	土地 町規約
11	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町貳 丁目	文久4.1.-(~元 治1.12.29)	年行司大和屋与三兵衛・鍵屋 半兵衛／糸屋忠作・象牙屋儀 兵衛、月行司2名	—	原	竖帳	1冊	23.9×16.5	虫損小		(裏表紙)「年行司兩人、 月行司兩人」、(地に記 載)「子」	月末毎に年行司・月行司が記名、 次月へ引継ぐ。年行司は2月に交 代	町財政
12	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町貳 丁目	元治2.1.-(~ 同.12.30)	年行司糸屋忠作・象牙屋儀兵 衛／帯屋加兵衛・大和屋与兵 衛、月行司2名	—	原	竖帳	1冊	24.1×16.6			(裏表紙)「年行司兩人、 月行司兩人」、(地に記 載)「丑」	月末毎に年行司・月行司が記名、 次月へ引継ぐ。年行司は2月に交 代。月行司にも糸屋忠作名あり	町財政
13	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町貳 丁目	慶応2.1.-(~ 同.12.30)	年行司砂糖屋伊助・銭屋伝兵 衛、月行司2名	—	原	竖帳	1冊	24.3×16.7	虫損小		(裏表紙)「年行司兩人、 月行司兩人」、(地に記 載)「寅」	月末毎に年行司・月行司が記名、 次月へ引継ぐ	町財政
14	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町貳 丁目	慶応3.1.-(~ 同.12.30)	年行司若狭屋勘兵衛・砂糖屋 伊助、月行司2名	—	原	竖帳	1冊	24.3×16.6	虫損小		(裏表紙)「年行司兩人、 月行司兩人」、(地に記 載)「卯」	月末毎に年行司・月行司が記名、 次月へ引継ぐ。月行司に糸屋忠 作名あり	町財政

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
15	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町式丁目	慶応4.1.-(~明治1.12.29)	年行司阿波屋嘉兵衛・若狭屋勘兵衛、月行司2名	—	原	縦帳	1冊	24.2×16.6			(裏表紙)「年行司兩人、月行司兩人」	月末毎に年行司・月行司が記名、次月へ引継ぐ。月行司に糸屋忠作名あり	町財政
16	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 南久宝寺町式丁目	明治2.1.-(~同.12.30)	年行司桔梗屋甚七(印)・小山屋忠兵衛代判勘兵衛(印)、月行司2名(印)	—	原	縦帳	1冊	24.0×16.5	虫損中		(裏表紙)「年行司兩人、月行司兩人」、(地に記載)「巳」	月末毎に年行司・月行司が記名捺印、次月へ引継ぐ。月行司に糸屋忠作名あり	町財政
17	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	毎月勘定帳 東拾五番組南久宝寺町式丁目	明治3.1.-(~同.12.-)	年行司大和屋与三兵衛・平野屋重助、月行司2名、年寄金屋伊右衛門	—	原	縦帳	1冊	23.4×16.6	虫損中		(裏表紙)「年行司兩人、月行司兩人」	月末毎(7・8月のみ纏めて計算)に年行司・月行司が記名、次月へ引継ぐ。閏10月より年寄記名	町財政
18	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	三ヶ条判形(切支丹・博奕・遊女法度につき) 北久宝寺町三丁目	享保19.10.(1)	南組北久宝寺町三丁目年寄島本宣安／借屋中	—	原	縦帳	1冊	27.2×21.5	虫損小			後補表紙付、「佐藤蔵書」印あり。五人組毎に家持・借屋人合計177名連印。印は名前下のほか名前上に12顆あり(毎月1年分)	法令 町政
19	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	戎講組中(規約請印帳)	宝暦14.2.-	浜組(印)、堺筋組(印)、油町組(印)、北組(印)	—	原	縦帳	1冊	29.1×23.0	汚損小			木綿渡世人の4組合で戎講再興、例年3月10日に惣参会を開催することなどを「覚」にまとめ、請印	商業 組合 民俗
20	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	戎講中(規約請印帳)	宝暦14.2.-	浜組37名・堺筋組16名・北組28名・油町組35名(連印)	—	原	縦帳	1冊	31.9×23.8			(奥書)「酉三月改／紙員三十五枚」、(裏表紙)「木綿店」	19の4組合の全成員による請印、明和期の成員の出入りにつき付箋あり。前文の「定」は、19の「覚」の最後に、各家での召抱人についての規約を加えたもの	商業 組合 民俗
21	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	戎講勘定帳	(宝暦14.2.-~明和6.7.-)	—	—	原	縦帳	1冊	31.2×23.8	虫損小		(裏表紙)「木綿店」	戎講諸入用につき春秋半期ごとの勘定、総人数で割る。浜・堺筋・油町・北各組持ち回りで行司を務める	商業 組合 民俗
22	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	諸証文帳 南久宝寺町式丁目	元治1.10.-~明治1.9.-	—	—	原	縦帳	1冊	28.9×22.4	虫損小		(表紙左上注記)「壱番」	屋敷地売買、相続による名義切替など。この時期の町年寄は金屋伊右衛門	町政 金融
23	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	差上申証文之事(切支丹・博奕・遊女法度につき)	(天保15.10.1~)弘化2.9.30	大坂南組北久宝寺町五丁目月行司近江屋源兵衛(印)、同播磨屋清兵衛(印)、年寄備前屋弥兵衛(印)	御番所	原	折本	1冊	31.1×13.8	虫損小		(表紙)「大坂南組北久宝寺町五丁目」	家数合24軒(住宅家主11・町内持2・他町持10・会所屋敷1)、各家につき1年分の請印が並ぶ。役数合34役7歩、人数合504人(男380・女124)	法令 町政
24	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	差上申証文之事(切支丹・博奕・遊女法度につき)	(万延1.10.1~)文久1.9.30	南組北久宝寺町五丁目月行司近江屋安兵衛(印)、同河内屋嘉兵衛(印)、年寄小西屋源右衛門(印)	御番所	原	折本	1冊	31.1×13.7	虫損中	24に24-1~3を挟み込み	(表紙)「大坂南組北久宝寺町五丁目」、(表紙に貼紙)「[]七月三日於上難波御堂十八番鬨八田権蔵様御収納」	家数合24軒(住宅家主6・町内持2・他町持15・会所屋敷1)、各家につき1年分の請印が並ぶ。役数合34役7歩、人数合472人(男346・女126)	法令 町政
24-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	[家数・役数・人数覚]	弘化2.9.30	南組北久宝寺町五丁目年寄備前屋弥兵衛(印)	—	原	切紙	1通	27.3×30.9		24に24-1~3を挟み込み		各数値は23と同じ	法令 町政
24-2	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	[家数・役数・人数覚]	嘉永5.9.30	南組北久宝寺町五丁目年寄小西屋源右衛門(印)	—	原	切紙	1通	29.3×22.2		24に24-1~3を挟み込み		家数合24軒、人数合490人(男353・女137)	法令 町政
24-3	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(金・銭・米の高につき)	[近世].-.-	—	—	原	縦紙	1通	23.6×33.5		24に24-1~3を挟み込み		金10両、銭15貫文、米94石、内容不明	法令 町政
25	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	宗旨人別帳 北久宝寺町五丁目	文政12.10.(1)	—	—	原	縦帳	1冊	31.9×24.0				前書の法度あり。年寄小橋屋九右衛門家から始め69所帯、それぞれ1年分の請印が並ぶ。戎屋五兵衛支配借屋の小橋屋兵之助(13歳)の元には、下人222人がいる	戸口

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
26	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	家持・借屋宗旨人別増減改帳 大坂南組幸町四丁目	嘉永5.10.1	—	—	原	豎帳	1冊	32.2×24.0			(地に記載)「嘉永五子」	前書の法度あり。年寄石見屋吉 兵衛家から始め家持9世帯、借屋 人67所帯、それぞれ1年分の請印 が並び、その間の増減を記す	戸口
27	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	宗旨人別控	安政3.9.上旬	〔妙徳寺〕	—	原	豎帳	1冊	29.6×21.8	虫損小	27に27-1・ 2を挟み込 み	(裏表紙)「妙徳寺」	大坂の妙徳寺で作成された檀家 の記録。辰年(安政3)以降、酉年 (文久1)までの6年にわたって追 記・削除され、付箋・貼紙多し	戸口 寺院
27-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔檀家覚〕(京町堀四丁目春日 屋耕助ほか)	〔幕末〕.-.-	〔妙徳寺〕	—	原	帳外れ	1点	27.3×39.0		27に27-1・ 2を挟み込 み		戌～寅年のもの。綴じ穴の位置に より、27-1・2は同じ帳からの脱落 と思われる(27ではない)	戸口 寺院
27-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔檀家覚〕(立慶町高砂屋福助 ほか)	〔幕末〕.-.-	〔妙徳寺〕	—	原	帳外れ	1点	27.3×39.0		27に27-1・ 2を挟み込 み		戌～巳年のもの。綴じ穴の位置に より、27-1・2は同じ帳からの脱落 と思われる(27ではない)	戸口 寺院
28	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	人別下調帳 具足屋町	明治4.10.- (～同 5.-.-)	—	—	原	豎帳	1冊	31.6×21.5	付紙外 れ	28に28-1 を挟み込 み		家持19世帯、借家人54世帯。そ れぞれ翌4、5月までの印が並ぶ。 旦那寺の記載なし	戸口
28-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔地面借用主覚〕	〔明治〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	16.3×19.4		28に28-1 を挟み込 み		松屋町末吉橋通北東角地、借用 主池谷為次郎につき	戸口
29	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	丁式之内再改申定書	嘉永4.4.-	小山屋忠兵衛(印)、堺屋孫 蔵、象牙屋佐右衛門、ほか30 名	御年寄吉野屋新兵衛殿	原	豎帳	1冊	24.2×16.7				南久宝寺町2丁目の町定め。「丁 内申定之事」「丁代江申付候事」 「下役江申付候事」「髪結江申付 候事」に分かれる。糸屋忠蔵・忠 作の名・印あり	町規約
30	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	丁内再申合帳 南組南久宝 寺町式丁目	文久2.10.-	年寄／小山屋忠兵衛代判勘兵 衛(印)、象牙屋佐右衛門代判 伊兵衛(印)、糸屋儀造(印)、 ほか24名	—	原	豎帳	1冊	24.1×16.7	虫損小			本文見出し「再申合」、嘉永4年8 月申合の再認。糸屋忠作の名・印 あり。差出人の糸屋儀造は糸忠 一統の可能性あり	町規約
31	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	丁内申合書帳 南久宝寺町 式丁目	文久4.1.-	小山屋忠兵衛代判勘兵衛 (印)、象牙屋さき代判伊兵衛 (印)、糸屋忠作(印)、ほか24 名	御年寄金屋伊右衛門殿	原	豎帳	1冊	24.3×16.8				本文見出し「丁内申合覚」。文久3 年の大火「新町焼け」後の普請等 に関する町定め	町規約
32	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	御席順書 南久宝寺町式丁 目	元治1.4.-	—	—	原	豎帳	1冊	23.8×16.7				何の席順かは不明。「御年寄様」 から始まり、以下26名、その後「御 家守衆」10名(内8名は付紙にて追 加)が並ぶ。朱字でそれぞれ立会 の年月を注記する。糸屋忠作は 安政5年12月	町政
33	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	丁内番一件覚 南久宝寺町 式丁目	明治4.3.-	—	—	原	豎帳	1冊	24.2×16.6				家持・借屋人より定(自身)番・増 番・辻番など出すにあたり、入用 の勘定	町政 治安
34	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔町内増番・辻番入用覚〕	〔明治初年か〕.- .-	—	—	原	豎帳(2 丁の み)	1冊	24.2×16.4				年不詳、11・12月分	町政 治安
35	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	施行囲米勘定帳 子ノ壺番	天保11.12.(5)	囲米掛惣年寄印	—	写	豎帳	1冊	24.0×16.9				天保飢饉に続く食糧難につき、同 11年6月付の仕法あり。大坂南組 で糸屋忠作は銭30貫文抛出。末 に勘定帳・廻詰帳の略記あり	救恤
36	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	施行手当申立廻詰之節入用 帳 肝煎方	天保12.12.15	—	—	原	豎帳	1冊	23.5×16.6	虫損小	36に36-1 を挟み込 み			救恤
36-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	おぼへ(座料受取)	寅2.30	北組丹六(印)	廻囲御行司様	原	切紙	1通	15.9×12.9	虫損小	36に36-1 を挟み込 み			救恤

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
37	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(市中難渋人へ御救施行につき町内有志の拋出銭高取調べ)	明治3.1.27	年寄／金屋伊右衛門(印)、いと屋忠作(印)、帯屋嘉兵衛(印)、ほか29名	—	原	竖帳	1冊	23.3×16.7		37に37-1を挟み込み		銭高取調べは「中御年寄」からの申渡し。糸屋忠作は銭8貫文拋出。奥に銭高合計125貫文、3月9日に80貫文上納とあり(37-1に基づく追記)	救恤
37-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(難渋人へ施銭80貫文受取)	午(明治3).3.9	会議所(印「東大組拾五番会議所」)	南久宝寺町貳丁目	原	切紙	1通	28.8×13.3		37に37-1を挟み込み			救恤
38	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	「御勝手御元方御役人御交代覚」ほか記録	安政6.[-.-](～明治2.7.5)	—	—	原	竖帳	1冊	25.5×17.3	表紙破損大・虫損小	38に38-1を挟み込み		平野郷の末吉勘四郎文書のように、糸忠との関係は不明。領主の古河藩(土井家)より扶持を受け、為替御用を務めていることが見える	支配金融家
38-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	書状(西喜連村出入につき仲裁の依頼)	〔幕末か〕.8.28	平野末吉勘四郎	北大道村外山官三郎様	原	切紙	1通	16.5×66.1		38に38-1を挟み込み		裏面に「帳始」等、帳簿作成に関する記載あり。表裏筆跡が一致するので、手紙は出さずに反故紙として利用か	村金融
39	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔南久宝寺町貳丁目における相続改名・引越変宅につき覚〕	亥〔嘉永4か〕.1.11.-	年寄吉野屋新兵衛(印抹消)	惣御年寄中	原	竖帳	1冊	24.1×16.7	シミ中			28名分記載、嘉永2年12月までの記載あり	町政
40	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(止宿人嚴重取調べにつき)	未〔幕末〕.1.19	年寄／小山屋忠兵衛代判勘兵衛(印)、絵具屋治助代判重助(印)、和泉屋弥兵衛(印)、ほか62名	御年寄金屋伊右衛門殿	原	竖帳	1冊	24.1×16.6				同日付、月番南久太郎町貳丁目よりの廻達による。糸屋忠作の名・印あり	町政
41	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	嘉永二酉年より安政三辰年正月迄丸七ヶ年之間之惣勘定之控書	〔幕末〕.-.-	—	—	原	竖帳	1冊	25.3×17.5			(表紙注記)「紙数本紙九枚」	裏表紙綴じ目に「石井氏」印あり	家計
42	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	歩一銀并会所入銀割渡帳 南久宝寺町貳丁目	明治4.8.8	立会(金屋伊右衛門・帯屋加兵衛・糸屋忠作・ほか6名)、年行司	—	原	竖帳	1冊	24.3×16.4					町財政
43	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	先祖より町内有来差障商売向承知印形帳 南久宝寺町貳丁目	文政12.11.-	小山屋忠兵衛(印)、堺屋孫兵衛(印)、小山屋治兵衛(印)、ほか33名	御年寄布屋規兵衛殿	原	竖帳	1冊	27.1×21.1	虫損小			諸家用達・医師・刷毛屋・ほか47業種へ新規の家売買・借屋貸しを禁止。糸屋忠蔵の名・印あり	町規約
43-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔印形帳奥書雛形〕	慶応4.閏4.-	—	御年寄金屋伊右衛門殿	雛形	切紙	1点	24.5×20.0				43の内容を再確認する時のもの	町規約
43-2	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔人名書付〕	〔近世〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	14.9×10.1				「中津町中橋筋北へ入 顕屋藤兵衛」ほか1名	町規約
44	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	御地代銀高帳 幸町四丁目	天保14.10.-	—	—	原	竖帳	1冊	27.3×21.2				堀江町開発関係。6名分、永々地代1か年計356匁1分3厘3毛上納	法令土地
45	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	町屋敷沽券状之写 西拾参番組幸町四丁目	明治3.3.- (～同4.9.-)	西大組壱番幸町四丁目少年寄西岡卯兵衛(印)／月行司福山屋嘉兵衛(印)	—	原	竖帳	1冊	27.0×19.5	シミ中		(中表紙注記・朱字)「千吉番」	沽券状20通の控、各名義人に印あり	土地
46	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	諸一札帳 西拾三番組幸町四丁目	明治3.11.- (～同8.3.3)	—	—	原	竖帳	1冊	27.2×19.9				家屋敷売買一札12通の控。うち11通は年寄のち戸長の淡路屋(岡本)嘉兵衛宛。最後の1通は西大組第廿区戸長和田利兵衛宛。後半余白多し	土地金融
47	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔幕府より寺社へ申渡〕	文政13.(4.10～同.5.1)	—	—	写	竖帳	1冊	24.4×17.6	虫損小		(表紙)「文政十三年庚寅」	浄土宗惣本山、土御門・吉田両家ほか宛	法令寺社
48	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	新因講仕法書 北組御量講	弘化4.2.-	—	—	原	竖帳	1冊	25.0×17.1	虫損・シミ小			12人、13回で満講。51と関係か	金融
49	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	安政三辰年中勘定帳 巳正月改	(安政4.1.-改)	石井多兵衛	—	原	竖帳	1冊	25.3×17.5				41の内容に続く。筆跡同じ	家計
50	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	巳正月より五月迄勘定帳	〔安政4.6.-改〕	石井多兵衛	—	原	竖帳	1冊	25.4×17.5				49の内容に続く。筆跡同じ	家計

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
51	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	御使僧様志(帳) 御本山北組御畳講	〔江戸後期〕.4.29	—	—	原	竖帳	1冊	24.6×17.4	虫損小			糸屋忠蔵が南鐐1片寄付	金融寺院
52	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	定(講の仕法)	〔江戸後期〕.-.-	信楽寺世話方・勘定元	—	原	竖帳	1冊	25.2×17.4				30人、16回まで。信楽寺は大坂市中長堀橋近く	金融寺院
53	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	四天王寺鐘楼堂修覆講(仕法帳)	〔江戸後期〕.-.-	四天王寺再建勘定元、講元山崎屋卯兵衛、引請世話人大塚屋庄兵衛・金屋新右衛門・ほか1名	—	写	竖帳	1冊	24.3×16.6				18人1組、54か月で満講	金融寺院
54	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	天保四癸巳年より明治十丁丑年まで四十五ヶ年之間之成行書	〔明治10か〕.-.-	安重	—	原	竖帳	1冊	25.6×16.4				天保4年5月「当石井家江入家」から始まる	家履歴
55	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	仕法書(津村西ノ町浄明寺本堂修覆講につき)	〔近世〕卯.2.-	金屋七郎右衛門・加島屋平兵衛・吉村屋喜兵衛	—	原	竖帳	1冊	25.4×16.4				18人1組、36か月で満講	金融寺院
56	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	寛文八年・文化十一年被仰出候御条目式通写 明円寺所持	〔近世後期〕.-.-	—	—	写	竖帳	1冊	27.5×21.3	虫損小			浄土真宗本願寺派、寛文8年9月25日付「諸国末寺僧徒可守之掟」と文化11年11月付「掟」の写	寺院法令
57	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	規定(浄土真宗本願寺派寺院の新規入座につき)	嘉永5.3.-	—	—	原	竖帳	1冊	28.7×21.4				中間寺院として「入座式目」の項に、浄明寺・明円寺など12か寺連印	寺院法令
58	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	大坂市中御用金被仰付候町人請高・家号・名前控	文化10.-.-	—	—	写	竖帳	1冊	25.7×17.1			(裏表紙)「糸忠」、(表紙注記)「いろは部」	合計金高542,157両1步2朱。糸屋の記載なし	支配金融
59	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	御用金拝借金控(商法会所仰せ付けの御用金捻出につき)	明治1.12.-	—	—	原	竖帳	1冊	24.2×17.0			(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	東堀組年行司は大和屋利兵衛・小橋屋兵之助。糸屋忠作ら43家分	支配金融
60	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	職方助施一件控 東堀組	天保8.1.-	—	—	写	竖帳	1冊	25.2×17.6				木綿高値により下職(紺屋・絞屋など)難渋、東堀組ほか5組よりの寄付銭3216貫700文を施す	職工救恤
61	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	規定印形帳 七組毛綿仲間	嘉永5.10.-	七組々印	—	写	竖帳	1冊	24.8×17.5				嘉永4年10月付、七組惣仲間の「申合誓約」に「追規定申合」を加えたもの	商業組合
62	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	安政五午年六月朔日東地方役所へ七組行司御召出、西国毛綿問屋一手二引請度願書	安政5.5.27	(木綿問屋年行司菱屋)吉兵衛、(同広屋)又兵衛、(同讃岐屋)弥兵衛	御奉行様	写	竖帳	1冊	25.1×17.0	シミ小			本文見出し「乍恐口上」。77にも同じ写しあり	商業組合
63	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔諸国よりの木綿荷主素人取引で相場高値につき木綿問屋仲間願書写〕	嘉永5.10.10	(木綿問屋仲間年行司今橋壱丁目淀屋)与兵衛・(安土町壱丁目広屋)篤左衛門代判又兵衛・(長堀茂左衛門町増屋)利兵衛・ほか1名	御奉行様	写	竖帳	1冊	24.3×16.7			(表紙、付箋で隠す)「油町組所持」	本文見出し「乍恐書附ヲ以奉願上候」。77にも同じ写しあり	商業組合
64	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔御尋ね奉公人取調べにつき口達覚〕	巳(安政5).閏5.26	東堀組行司播磨屋瓶次郎(印)、小橋屋兵之助(印)、三井八郎右衛門(印)、ほか36名	—	原	竖帳	1冊	24.5×16.7			(表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	「右様之者一切無御座候、以上」(糸屋忠蔵)など、各人一筆あり	商業組合
65	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	東堀組毛綿仕入積問屋仲間帳	安永10.1.-	瓦町壱丁目播磨屋久兵衛(印)、備後町三丁目布屋平右衛門(印)、南本町式丁目播磨屋彦三郎(印)、ほか19名	—	原	竖帳	1冊	27.4×20.7				本文見出し「差上申一札」、木綿問屋25人・北組23人・東堀組20人・上町中買組50人の新規組合仲間加入についての判形帳。「南久宝寺町式丁目糸屋忠作」印あり	商業組合
66	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	毛綿直下ヶ一件控	寛政2.4.-(~同.8.20)	東組年行司井筒屋庄右衛門・河内屋宗助	—	原	竖帳	1冊	24.5×17.2				米価下落にも木綿相場は下値にならず、奉行所とのやり取りを記録。「東堀組木綿積問屋仲間申合判形帳」(寛政2年6月10日)あり	商業組合
67	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	木綿直下印形帳 東堀組毛綿積問屋仲間	寛政4.9.-	行司布屋平右衛門(印)・袴屋三郎兵衛(印)／布屋佐兵衛(印)、播磨屋久兵衛(印)、越後屋八郎右衛門店預り源四郎(印)、ほか19名	—	原	竖帳	1冊	28.4×21.7	虫損小			綿豊作で綿値段下値に関わらず木綿相場は高値のため、役所よりお尋ね。堺筋組・北組・東堀組連名で返答し、引下げに出精する旨、確認	商業組合

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
68	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毛綿染入中御免目印判一件 印形帳 諸国毛綿仕入商売 人東堀組	寛政8.7.- (同.6.21～同.8.-)	越後屋八郎右衛門(印)、袴屋 半兵衛(印)、深江屋勘兵衛 (印)、ほか20名(内2名年行 司)	—	原	豎帳	1冊	28.1×21.4				染職人取締りのため、奉行所より 油町組・東堀組・北組各目印の判 を許可してもらったことの確認	商業 組合
69	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	毛綿直下ヶ印形帳 東堀組	文政2.11.11	年行司小橋屋四郎右衛門 (印)、同山本屋惣右衛門 (印)、越後屋八郎右衛門 (印)、ほか30名	—	原	豎帳	1冊	28.9×22.0				木綿値段7歩下げにて売買となっ たことの確認。糸屋忠蔵名・印あ り	商業 組合
70	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	定法印形帳(毛綿仲間7組 「規定申合之事」)	天保11.3.-	通路人吉野屋篤兵衛(印)、小 橋屋四郎右衛門代判治右衛門 (印)、小橋屋兵之助代判儀兵 衛(印)、ほか29名(印抹消)	—	原	豎帳	1冊	29.0×21.2			(裏表紙)「東堀組毛綿仲 間」	文化13年の木綿屋仲間7組(油 町・東堀・堺筋・上町・北・江戸・天 満)「為取替式目」の再確認、およ び新規株札御免につき条目追加 (仲間新加入や株札帳面筆箭・鍵 の保管など)。糸屋忠作名・印あり	商業 組合
71	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	東堀組毛綿積問屋仲間名前 帳	嘉永4.3.-	瓦町寺丁目播磨屋久吉代判瓶 次郎(印)、備後町三丁目布屋 平三郎代判善助、南本町式丁 目播磨屋彦三郎(印)、ほか44 名	—	原	豎帳	1冊	27.1×20.9				天保13年株仲間停止後、問屋・仲 間・組合再興時のもの。元治元年 まで貼紙にて仲間の異動を示し、 最終46名となる。糸屋忠作名・印 あり(安政5年代替り)	商業 組合
72	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	絞り染屋仲間名前帳	嘉永4.9.-	三郷絞り染屋仲間(角印「三郷 絞染職中年番・行司」)、南浜 町年行司河内屋新兵衛、江戸 堀四丁目播磨屋治右衛門、立 売堀三丁目播磨屋久兵衛、ほ か39名	(東堀組御行司様)	原	豎帳	1冊	27.5×21.4	シミ小		(表紙左上注記)「東堀組 御行司様」	問屋・仲間・組合再興につき、本 文見出し「乍憚口上」	職工 組合
73	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	規定印形帳(毛綿仲間7組 「申合誓約之事」)	嘉永5.10.-	油町組仲間(印)、行事布屋市 左衛門・刀屋基右衛門・丹波屋 平兵衛ほか1名、ほか東堀・堺 筋・北・上町・江戸・天満組仲間 (各印)、行事12名	—	原	豎帳	1冊	27.3×21.0	虫損小		(裏表紙)「東堀組毛綿仲 間」	「出銀定」(加入料、分家・別家加 入)、「追規定申合之事」あり。東 堀組行事(行司)は山本屋休兵 衛・信濃屋豊太郎	商業 組合
74	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	仮組一統承知印形帳 東堀 組毛綿仲間	嘉永4.11.-	東堀組之内仮組糸屋利兵衛 (印)、播磨屋富助(印)、糸屋 吉兵衛(印)、ほか8名	—	原	豎帳	1冊	28.9×21.7	虫損小			問屋・仲間・組合再興、新規商売 につき、本文見出し「一札」	商業 組合
75	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	目印判申合承知印形帳 東 堀組毛綿仲間	嘉永5.10.-	播磨屋久吉(印)、播磨屋彦三 郎(印)、小橋屋四郎右衛門 (印)、ほか32名	—	原	豎帳	1冊	28.4×21.7				職方へ預ける木綿に組の目印判 を押すことにつき、本文見出し「口 達」。糸屋忠蔵名・印あり	商業 組合
76	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	差上一札(木綿値段引下げ仰 渡しにつき) 東堀木綿積問 屋行事	亥(寛政3).5.-	袴屋三郎兵衛(印)、布屋佐兵 衛(印)、布屋平右衛門(印)、 ほか20名	—	原	豎帳	1冊	33.9×24.4	表紙虫 損小			寛政3年5月18日付、年行事深江 屋勘兵衛らより奉行所宛の請証 文写に仲間が請印したもの	商業 組合
77	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	[毛綿問屋願書・口上書留] 東堀組毛綿仕入積問屋	(天保10.6.27～ 安政5.5.27)	—	—	原	豎帳	1冊	27.5×20.8				大坂町奉行宛。62・63も含まれる	商業 組合
78	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	仕入形附紺屋仲間名前帳写	安政5.7.-	仕入形附紺屋仲間(印)、江戸 堀五丁目八木屋八兵衛・南問 屋町京屋九兵衛・江戸堀寺丁 目倉橋屋庄兵衛・ほか31名、 および惣代願人3名・年行司1 名	—	原	豎帳	1冊	28.8×21.9				三郷全体の仕入形附紺屋仲間業 態について	職工 組合
79	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	仕入形附紺屋手拭染仲間名 前帳	明治3.8.-	仕入形附紺屋手拭染仲間(印)	東(堀脱)組御年行司中 様	原	豎帳	1冊	27.5×19.5	虫損小			本文見出し「定」、「塩町寺丁目備 前屋兵衛」以下33名の名前列記	職工 組合
80	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	絞り糊置染仲間名前帳	明治3.8.-	絞り糊置染仲間(印)	東堀組御年行司衆中様	原	豎帳	1冊	27.4×19.7	虫損小			本文見出し「定」、「立売堀三丁目 播磨屋久右衛門」以下21名の名 前列記	職工 組合
81	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	絞染屋・形附紺屋割引金仕懸 ヶ減少承知[](印形帳) 東[](堀組毛綿仲間)	寅[嘉永7].8.-	東堀組行司扇屋与兵衛(印)・ 播磨屋瓶次郎(印)／播磨屋久 吉(印)、布屋平三郎(印)、播 磨屋彦三郎(印)、ほか34名	—	原	豎帳	1冊	28.3×20.6	虫損・汚 損大			絞染屋・形附紺屋の値引き交渉 について。糸屋忠蔵名・印あり	職工 組合

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
82	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	形附紺屋・絞染屋・藍無地染屋三職証文写	(万延1.11.-～同2.1.-)	(三郷仕入形附紺屋仲間惣代・年行司／絞染屋職中連印／藍無地染屋仲間惣代・年行司)	(七組毛綿屋御仲間御行司)	写	縦帳	1冊	24.0×16.8	虫損中			3職より1通ずつ、7組仲間との取引・業態についての約定証文の写し	職工組合
83	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔正金値段にて木綿売買につき請印帳〕	明治2.6.-	播磨屋久吉(印)、播磨屋彦三郎(印)、三井八郎右衛門代判喜兵衛(印)、ほか39名	年行司山本屋久兵衛代判栄助殿・小橋屋四郎右衛門代判重右衛門殿、肝煎糸屋忠作殿・ほか1名	原	縦帳	1冊	25.3×17.5				明治2年6月12日付、7組木綿屋仲間のうち江戸組以外6組より会計局宛の木綿値段口上写に東堀組仲間が請印したもの。請印には商用印ではなく個人印使用	商業組合
84	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	南晒差留承知印形帳 東堀組	文化7.3.-	袴屋半兵衛(印)、越後屋八郎右衛門(印)、深江屋勘兵衛(印)、ほか27名	東堀組御行事袴屋三郎兵衛殿・布屋平右衛門殿	原	縦帳	1冊	28.0×21.6				堺問屋が泉州木綿を買取り、石津ほか2か所の晒屋へ即遣わずことに抗議、しばらく晒地入れは差止め。請印はすべて抹消、糸屋忠蔵名・印あり	商業組合
85	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	松前下り諸事控 竹田性	明治4.5.(19～同7.8)	〔糸屋忠作〕	—	原	縦帳	1冊	24.9×17.2				糸屋忠作が松前へ昆布の買付に行った折の記録	商業海運
86	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	堺表買留り承知印形帳 東堀組	文化6.12.21	東堀組年行事布屋平右衛門(印)・袴屋三郎兵衛(印)、越後屋八郎右衛門(印)、ほか29名	—	原	縦帳	1冊	28.2×21.3	虫損小			堺奉行所より泉州木綿の他国売買禁止の仰せについて。糸屋忠蔵名・印あり	商業組合
87	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	紀州御出入船積問屋式目帳写	文化7.1.-	—	—	原	縦帳	1冊	28.0×21.2			(表紙に角印)「紀州積方組合出入問屋」	本文見出し「船積問屋仲間定」。組合惣名前として、天満屋六次郎ら25名の名前列記。奥に仲間印鑑・入用集銀請取印鑑あり	商業海運組合
88	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	船玉組取締式目之事	文化6.12.-	高麗橋東堀袴屋半兵衛(印)、唐物町三丁目山本屋宗右衛門(印)、北久宝寺町堺筋鍵屋治郎兵衛(印)、ほか8名	—	原	縦帳	1冊	31.7×23.7	虫損・汚損小			北国廻船問屋の組合で住吉大明神を信仰、「船玉組」と命名し、組内仕法を定める。「北久太郎町寺丁目糸屋忠蔵」印あり	商業海運組合
89	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	諸用通達帳	安政3.1.- (同2.11.-～同5.11.-)	(東堀組行司)	(東堀組仲間)	原	縦帳	1冊	30.2×23.4	表紙手擦れ	89に89-1～6を挟み込み	(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	木綿屋仲間7組への加入・除外、染職人らの異動、仲間外にて不正取引への処罰、その他の口達類をまとめ、東堀組仲間の請印をとる。安政2年末～同3年には糸屋忠蔵が年行司を務める	商業組合
89-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔東堀組諸入用覚〕	午〔安政5〕.5.-前	鍵屋清八	播久様	原	切紙	1通	14.7×14.8		89に89-1～6を挟み込み		参会廻状ほか、計9貫文	商業組合
89-2	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔東堀組諸入用覚〕	〔安政3～5頃〕.7.-前	かき清	はり久様	原	切紙	1通	15.1×14.6		89に89-1～6を挟み込み		集金ほか、計6貫文	商業組合
89-3	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(銭請取)	〔安政3～5頃〕.7.22	鍵清	—	原	切紙	1通	15.2×11.8		89に89-1～6を挟み込み		4貫400文	商業組合
89-4	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔東堀組入用受取覚〕	〔安政3～5頃〕.5.-前	(印「住吉分銅屋」)	扇屋勘助様、はり久様	原	切紙	1通	15.6×15.4		89に89-1～6を挟み込み		4貫580文	商業組合
89-5	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔東堀組提灯張替代覚〕	〔安政3～5頃〕.6.19	河又	上	原	切紙	1通	16.1×8.2		89に89-1～6を挟み込み		2貫300文	商業組合
89-6	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔金子勘定覚〕	〔安政3～5頃〕.-.-	—	—	原	切紙	1通	11.4×24.3		89に89-1～6を挟み込み			商業組合
90	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	御印鑑札印形帳	〔明治初年〕.-.-	瓦町寺丁目播磨屋久古代判金三郎(印)、南本町式丁目播磨屋彦三郎(印)、高麗橋寺丁目三井八郎右衛門代判喜兵衛(印)、ほか38名	—	原	縦帳	1冊	24.2×17.2	虫損中		(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」、(表紙見開きに貼紙)「東大組第貳拾貳区南久宝寺町式丁目 木綿商竹田忠作」	東堀組肝煎糸屋忠作・柳屋又八より商法会所宛の仲間鑑札下げ渡し「定」に対する請印帳	商業組合

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
91	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	証文写	文久2.9.吉(～明治16.4.25)	—	—	写	縦帳	1冊	24.2×17.1	虫損・シミ小		(裏表紙)「竹田姓」	糸屋忠作の借金証文・家質加入枝証文・為替手形、西光寺門徒惣代関係など。明治11年に糸谷忠蔵(14年9か月)が第三十四国立銀行へ雇用の証あり	家金融
92	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	万覚帳	宝暦9.1.吉(～文政2.閏4.22)	—	—	原	横半帳	1冊	15.8×24.0	虫損中		(裏表紙)「永代本店」	「糸忠」ではなく、農人町・向島の「又兵衛」家。酒・味醂・米穀などを扱う商家の節季勘定・棚卸(明和7年春まで)、酒・味醂仕込み、婚礼入用なども記す。奥に年季奉公人一覧(文化3年1月まで)などあり	商業家
93	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	鍵万金銀出入勘定帳	嘉永3.10.(4～明治2.9.8)	[鍵屋万兵衛]	—	原	横半帳	1冊	15.7×22.3	表紙破損中	93に3-1・2を挟み込み		奥に文久3年鍵屋万兵衛の銀子受取手形3通貼付	商業組合町政
93-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(養子入・名前替につき町代ほか)	[幕末].6.-	町内	鍵万様	原	切紙	1通	16.1×16.5		93に3-1・2を挟み込み			町政
93-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	[覚](仲間・年行司にかかる金銭書上)	[幕末].-.-	—	—	原	切紙	1通	16.1×16.0		93に3-1・2を挟み込み			商業組合
94	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	諸用通達帳	文久1.12.- (～慶応1.3.-)	(東堀組行司)	(東堀組仲間)	原	縦帳	1冊	24.3×16.6	表紙手擦れ、虫損小、付箋外れ		(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	7組仲間の異動のほか、職方染賃値上げ、泉州木綿につき堺振問屋の約定、木綿への目印判不足につき調達など。文久2年、糸屋忠作が年行司を務める	商業組合
95	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	諸用通達帳	元治2.4.- (～慶応4.4.-)	(東堀組行司)	(東堀組仲間)	原	縦帳	1冊	23.8×16.7	表紙手擦れ、虫損中		(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	7組仲間の異動のほか、木綿への目印判確認、職方値段、一橋家領播州木綿ほか産物木綿売捌きなど。慶応3年、糸屋忠作が年行司を務める	商業組合
96	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	諸用通口(達)帳	明治2.7.- (～同5.1.-)	(東堀組行司)	(東堀組仲間)	原	縦帳	1冊	23.5×16.3	表紙手擦れ・破損小、虫損中		(裏表紙)「東堀組毛綿屋仲間」	7組仲間の異動のほか、東堀組40名よりの上納金(糸屋忠作10両2歩)、職方値段、通商会社での木綿商売開始、諸国・外国への木綿積出し取調べなど。明治2年9月に糸屋忠作が肝煎で現れ、同5年1月に行司を務める	商業組合
97～100欠														
101	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	寺送り状之事(とく)	文化6.9.-	南都北向町常德寺(印)	—	原	縦紙	1通	29.0×41.1				法華宗、北久太郎町河内屋新兵衛方へ縁付、102と対になる	戸口
102	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	人別送り状之事(とく)	文化6.9.-	和州郡山今井町年寄絹屋五兵衛(印)	大坂北久太郎町四丁目御年寄河内屋源八殿	原	切紙	1通	29.0×33.9	虫損小			俵屋庄兵衛妹、河内屋新兵衛方へ縁付、101と対になる	戸口
103	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	就切支丹宗門御改一札之事(利兵衛)	文化10.3.-	紀州若山宣経寺(印)	—	原	切紙	1通	28.2×20.0				法華宗、島屋新蔵倅	戸口
104	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	人別贈一札(文治郎)	文政9.9.-	和州葛下郡王寺村庄屋新七(印)	摂州大坂南久宝寺町貳丁目御年寄布屋喜兵衛殿	原	縦紙・包紙付	1通	24.8×34.3	虫損小		(包紙表書)「宗門人別送手形老通 和州葛下郡王寺村」	久渡久兵衛弟、33歳、糸屋忠蔵方へ送る	戸口
105	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	村送り一札之事(庄兵衛)	天保9.4.14	越前敦賀郡舞崎村庄屋治兵衛(印)	大坂南久宝寺町二丁目御役人衆中	原	縦紙	1通	29.8×41.4				庄五郎弟、糸屋忠作方へ送る	戸口
106	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	[宗旨請一札](六輔)	弘化4.4.-	紀州南部法伝寺(印)	—	原	縦紙・包紙付	1通	28.1×40.9			(包紙表書)「宗旨請」	浄土宗、南部北道村酒井屋弥六倅、糸屋忠蔵方へ奉公に出る。255・265と関係	戸口奉公人
107	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(利兵衛、10年)	文化11.-.-	請人大坂播磨屋新兵衛(印)、紀州若山奉公人親島屋新蔵(印)、奉公人利兵衛	糸屋忠蔵殿	原	縦紙	1通	33.2×46.6	虫損小		(端裏書)「利兵衛受状」・(朱書)「糸忠」	年季奉公	戸口奉公人

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
108	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(佐兵衛、10 年)	文化13.-.-	請人大坂(人名なし)、和州葛 下郡久度村奉公人親忠兵衛 (印)、和州立野村之内山上村 世話人九兵衛代人喜兵衛 (印)・奉公人佐兵衛	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	23.3×45.2	虫損小		(端裏書)「佐兵衛受状」・ (朱書)「糸忠」	年季奉公	戸口 奉公人
109	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(音次郎、10 年)	文政5.2.-	和州葛下郡高田村親伊助 (印)、大坂受人源兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.7×46.8				年季奉公	戸口 奉公人
110	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(徳兵衛、10 年)	文政11.11.-	本人親堺小山屋武兵衛(印)、 請人(人名なし)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	31.3×47.0				年季奉公	戸口 奉公人
111	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(万兵衛、10 年)	文政13.10.-	請人大坂玉造河内屋源助 (印)、和州御所町奉公人親茅 原屋万助(印)、奉公人万兵衛	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.6×44.4				年季奉公	戸口 奉公人
112	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(藤兵衛、10 年)	天保6.-.-	請人糸屋佐兵衛、奉公人藤兵 衛(印)、親大和屋喜兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	28.2×60.2				年季奉公	戸口 奉公人
113	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(留吉、10 年)	天保11.2.-	請人三原屋安右衛門(印)、同 出店甚助(印)、奉公人留吉	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	27.7×77.2				奥州松前函館荒木次良吉倅、年 季奉公	戸口 奉公人
114	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(甚吉、10 年)	天保15.8.-	請人奈良屋市兵衛(印)、奉公 人甚吉(印)	いとや忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.7×48.5				越前敦賀江戸屋甚兵衛倅、年季 奉公	戸口 奉公人
115	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(多兵衛、10 年)	嘉永1.-.-	請人大坂高三仁兵衛(印)、紀 州和歌山奉公人親森屋喜兵衛 (印)	いとや忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.7×44.5				年季奉公	戸口 奉公人
116	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(喜助、10 年)	嘉永2.3.-	請人河内屋利兵衛(印)	いとや忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.0×39.3	虫損中			和州宇陀更砂(紗か)屋なか倅、 年季奉公	戸口 奉公人
117	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(半助、10 年)	嘉永3.-.-	請人大坂大文字屋九兵衛 (印)、奉公人親濃州羽栗郡笠 松村駒屋利兵衛(印)	いとや忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.1×52.4	虫損小			年季奉公	戸口 奉公人
118	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人請状之事(清助、10 年)	嘉永4.-.-	請人大坂津の国屋由兵衛 (印)、奉公人親増田屋安右衛 門(印)	いとや忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.1×46.3	虫損小			年季奉公	戸口 奉公人
119-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	差入申一札之事(塩町河内屋 佐右衛門方へ養子に行くため 奉公の暇乞いにつき)	安政5.12.5	奉公人半助(印)、右親京屋清 七(印)、尾州起宿証人丁子屋 金右衛門(印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	30.5×72.3	虫損小	119-1・2を 119-3に収 める		117と関係。暇銀1貫目・御仕着頂 戴。河内屋は糸忠と同業のため 取引先を侵さないよう念書を兼ね る。別紙の河内屋取引先人数一 覧は欠	戸口 奉公人
119-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔書状〕(倅召使い下され御 礼、印形証文の送り状)	〔幕末〕.7.28	駒屋利兵衛	糸屋忠蔵様、同御隠居 様	原	切紙	1通	16.4×164.7		119-1・2を 119-3に収 める			戸口 奉公人
119-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔袋〕	安政5.12.-	—	—	原	袋	1点	31.0×6.2		119-1・2を 119-3に収 める	(表書)「濃州笠松駒屋利 兵衛倅……式通入 安政 五午十二月」	出精証文・奉公人証文2通入りと するが、奉公人証文の代わりに駒 屋書状を入れる	戸口
120	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家請状之事	安政7.3.-	家請人豊島屋吉次郎(印)、借 り主播磨屋治兵衛(印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	27.5×24.4				南久宝寺町二丁目にある貸家	戸口 借家
121	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家請状之事	安政7.3.-	貸り主播磨屋治兵衛(印)、親 類受越前屋孫助(印)	糸屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	30.8×51.6	虫損中		(端裏書)「はり治」	家賃銀は月27匁	戸口 借家
122	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家受状之事	万延1.6.-	家請人豊島屋吉次郎(印)、借 り主加賀屋作兵衛(印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	27.5×23.5				南久宝寺町二丁目にある貸家	戸口 借家
123	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家請状之事	万延1.8.-	借り主和泉屋富三郎(印)、受人 和泉屋利兵衛(印)	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	25.8×64.2	虫損中		(端裏書)「泉富」	貸家・浜納屋共、家賃銀は月86匁 9分	戸口 借家
124	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家請状之事	万延1.8.-	借り主和泉屋利兵衛(印)、受人 和泉屋富三郎(印)	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	25.8×64.0	虫損中		(端裏書)「泉利」	貸家・浜納屋共、家賃銀は月69匁 9分	戸口 借家
125	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家受状之事／預り申家附 物之事	万延1.9.-	借り主／預り主伊勢屋藤次郎 (印)、請負人／引受人山本屋 長兵衛(印)	糸屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	25.7×140.8	虫損中		(端裏書)「伊勢屋藤次郎」	両証文を一連で書く。家賃銀は月 99匁、家附物は店・中之間・二階 敷・五ツ竈など18点	戸口 借家
126	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	借家受状之事	万延1.9.-	貸り主加賀屋作兵衛(印)、親 類受小島屋吉兵衛(印)	糸屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	25.8×58.1	虫損中		(端裏書)「加賀作」	家賃銀は月25匁	戸口 借家

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
127	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家請状之事	文久2.4.-	借主田中屋徳兵衛(印)、親類 受伊勢屋武兵衛(印)	いと屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	25.7×54.5	虫損・汚 損小	127に127- 1を挟み込 み	(端裏書)「田中徳」	家賃銀は月25匁	戸口 借家
127-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	〔記「道頓堀九郎右衛門町」〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	16.0×4.0		127に127- 1を挟み込 み		127とは筆跡が異なる。借家の所 在地か	戸口 借家
128	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家請状之事	文久2.4.-	借り主菱屋与助(印)、親類受 負人本屋吉兵衛(印)	いと屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	25.7×62.4				家賃銀は月32匁	戸口 借家
129	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家請状之事	文久2.4.-	借主近江屋弥兵衛(印)、親類 受阿波屋松之助(印)	いと屋儀蔵殿	原	豎紙	1通	25.6×65.0		129に129- 1を挟み込 み	(端裏書)「近弥」	家賃銀は月35匁	戸口 借家
129-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	〔記「ときわ町三丁目」〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	15.9×3.5		129に129- 1を挟み込 み		129とは筆跡が異なる。借家の所 在地か	戸口 借家
130	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	文久2.8.-	三郷家受人天満屋吉右衛門 (印)、かり主播磨屋治兵衛 (印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	28.0×26.9	虫損小				戸口 借家
131	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	文久2.8.-	三郷家受人天満屋吉右衛門 (印)、かり主加賀屋作兵衛 (印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	28.0×26.8	虫損小				戸口 借家
132	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	文久2.8.-	三郷家受人天満屋吉右衛門 (印)、かり主田中屋徳兵衛 (印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	28.0×26.8	虫損小		(奥裏書)「南久宝寺町忝 (二か)丁目糸忠」		戸口 借家
133	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家請状之事	文久3.6.-	高津新地七丁目親類受負人加 賀屋伊八(印)、借家人播磨屋 常吉(印)	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	25.8×59.2				家賃銀は月25匁	戸口 借家
134	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借家請状之事(雛形)	〔幕末〕.-.-	—	糸屋忠作殿	雛形	豎紙	3通	25.8×58.5～ 61.5	虫損小			本文中、借受人の名前、家賃銀 高が空白、差出人用に余白をと る。すぐに使えるように用意したも の	戸口 借家
135	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(1貫386匁6 分)	文化1.4.-	中村市三郎(印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	28.4×34.7				返済期限は6月晦日	金融
136-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(3貫326匁)	弘化3.4.-	越前浜坂浦松下久右衛門 (印)、請人播磨屋五郎兵衛 (印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	28.7×34.9	虫損小	136-1・2を 136-3で一 括		利足は月1歩、入用の節元利返済	金融
136-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	預り銀子之事	嘉永2.6.-	越州浜坂浦久右衛門(印)、大 坂幸町五丁目宿浜坂屋市三郎 (印)	糸屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	28.6×38.6		136-1・2を 136-3で一 括		金額記載なし。利足は月1歩、入 用の節元利返済	金融
136-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—		136-1・2を 136-3で一 括	(上書)「越前浜坂松下久 右衛門」		金融
137	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	借用申銀子之事(2貫780目)	弘化3.7.-	越前吉崎多屋庄蔵(印)、大坂 宿若狭屋常次郎(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙・ 帯封付	1通	31.0×25.4	虫損小		(帯封上書)「越前多屋庄 蔵／弘化三口未の年」	返済期限は9月晦日	金融
138-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久3.1.-	借主対馬屋徳之助代判徳兵衛 (印)、請人大坂屋利兵衛(印)	薬屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	27.2×39.3	虫損中	138-1・2を 138-3で一 括		家附物借用証文。表巻間格子・巻 間上ヶ店など計14点	戸口 借家
138-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	請負申一札之事(対馬屋徳兵 衛借家につき)	文久4.10.-	請人平野屋善兵衛(印)、借主 対馬屋徳之介代判同徳兵衛 (印)	薬種屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.5×40.8	虫損中	138-1・2を 138-3で一 括	(端裏書)「七番」	南久宝寺町一丁目にある貸家、 家賃銀は月70匁6分2厘	戸口 借家
138-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—	虫損小	138-1・2を 138-3で一 括	(上書)「対徳」		戸口 借家
139-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋系屋文書(糸忠)	請負申一札之事(河内屋浅七 借家につき)	文久4.10.-	請人河内屋半左衛門(印)、借 主河内屋浅七(印)	薬屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.4×41.3	虫損小	139-1・2を 139-3で一 括	(端裏書)「五番」		戸口 借家

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
139-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久4.10.-	借主河内屋浅七(印)、請人河内屋半左衛門(印)	薬種屋喜重郎殿	原	縦紙	1通	28.3×41.2	虫損小	139-1・2を139-3で一括	(端裏書)「五番」	家附物借用証文。表送り戸・二階敷など計12点	戸口借家
139-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—	虫損小	139-1・2を139-3で一括	(上書)「河浅」		戸口借家
140	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預申金子之事(5両)	文化6.7.-	大黒屋弥七(印)、大黒屋由雄(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.0×21.4				利足は月8朱、入用の節元利返済	金融
141	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(10両)	天保8.2.-	長米丸宗次郎(印)	いと屋忠作殿	原	切紙・帯封付	1通	27.8×18.1			(帯封上書)「●宗次郎／不用証文」	●はカネ印に「長」。入用の節元利返済	金融 海運
142	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(60両)	天保15.10.-	田野中与三右衛門(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.6×19.1				入用の節元利返済	金融
143	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(1貫目)	天保3.3.-	末広丸寅助(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	31.1×20.3				入用の節元利返済	金融 海運
144	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(6貫160匁)	天保9.7.-	丸平屋伝兵衛(印)	いと屋忠作殿	原	切紙	1通	30.3×20.2				入用の節元利返済	金融
145	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(15両)	安政3.2.-	茨木屋喜兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.2×22.6	虫損小			入用の節返済	金融
146	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(12両)	天保6.5.-	津国屋清次郎(印)、河内屋源兵衛(印)	いと屋忠作殿	原	切紙・帯封付	1通	27.9×22.8	虫損小		(帯封上書)「津の清／金拾貳両／未五月」	入用の節元利返済	金融
147	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(600目)	天保6.6.-	末茂丸隆助(印「橋隆」)	糸屋忠作殿	原	切紙・帯封付	1通	29.2×16.6			(帯封上書)「末茂丸くすり証文」	一上下、登り次第元利返済	金融 海運
148	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(2貫目)	天保5.2.-	讃州粟島広寿丸政蔵(印)、請人讃岐屋佐七(印)	糸屋忠作殿	原	切紙・包紙付	1通	25.3×20.0			(包紙上書)「証文 ●」、(包紙追記)「広寿丸貳貫目／午五月／糸や」	●は山印に「園」。登り次第、上下1割半の利足を加え返済	金融 海運
149	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(10両)	天保13.5.4	荒物屋武兵衛(印)	いと屋忠作殿	原	切紙・帯封付	1通	30.7×19.9			(帯封上書)「天保十三寅の年／あら武／十両」	入用の節元利返済	金融
150	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(10貫目)	文化14.10.10	いと屋忠蔵(印破棄)	大和屋豊三郎殿	原	切紙	1通	31.6×18.9	破損小			利足は月7朱、入用の節元利返済	金融
151	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(4貫目)	文化14.1.30	いと屋忠蔵(印破棄)	小餅屋彦三郎殿	原	切紙	1通	28.3×28.0	破損・虫損小			利足は月5朱、入用の節元利返済	金融
152	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(3両)	天保6.1.-	池田屋篤造(印)	糸屋利兵衛殿	原	切紙	1通	23.3×20.2				入用の節返済	金融
153-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	請負申一札之事(薬屋喜十郎借家につき)	文久4.10.-	請人薬屋喜兵衛(印)、借主薬屋喜十郎(印)	薬種屋喜重郎殿	原	縦紙	1通	28.5×40.9		153-1・2を一括	(端裏書)「一番」	南久宝寺町一丁目にある貸家、家賃銀は月71匁7厘	戸口借家
153-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久4.10.-	借主薬屋喜十郎(印)、請人薬屋喜兵衛(印)	薬種屋喜重郎殿	原	縦紙	1通	28.5×40.9		153-1・2を一括	(端裏書)「一番」	表ヅリ上店一式・同戸3枚など12点	戸口借家
154	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(50両)	天保8.2.-	永寿丸桑吉(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	28.8×18.2				登り次第、上下1割半の利足を加え勘定	金融 海運
155	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預申銀子之事(500目)	文政3.3.-	油屋与三郎(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.4×27.8			(端裏書)「油与」	入用の節元利返済	金融
156	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(500目)	嘉永1.12.-	紅屋又兵衛(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.5×19.6				入用の節元利返済	金融
157	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(1両)	文政11.11.-	伊勢屋貴(喜)右衛門(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・付紙	1通	本紙: 28.5×14.5	虫損小			末に付紙、奥書として元利とも返済期限を丑(文政12)12月とする	金融
158	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(15両)	安政3.2.-	茨木屋喜兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28. 1×20.6				入用の節返済	金融
159	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(1貫700目)	天保6.6.-	順風丸善五郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙・帯封付	1通	27.7×16.8			(帯封上書)「順風丸善五郎／不用証文」	当秋登りの節、上下1割半の利足を加え返済	金融 海運
160	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(50両)	弘化3.7.-	預り主大和屋平兵衛(印)、同断同伊助(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙・帯封付	1通	30.6×27.1	虫損小		(帯封上書)「大平五十両／午七月／弘化三年」	両替64匁3分、利足月1歩、入用の節元利返済	金融
161	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子事(10貫目)	文化14.11.-	いと屋忠蔵(印破棄)	播磨屋清右衛門殿	原	切紙	1通	25.0×25.1	虫損大			虫損にて利足不明、入用の節元利返済	金融
162	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(懸屋敷譲渡につき銀2貫目受取)	元治1.4.-	糸屋忠作(印)	信濃屋林兵衛殿	原	切紙	1通	27.3×23.8					金融

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
163	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(60両)	天保5.0.-	明神丸伝吉(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	28.6×18.9				入用の節元利返済	金融 海運
164	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	一札之事(型染め心得違いにつき)	天保2.5.-	津国屋清次郎(印)	糸屋忠蔵様	原	縦紙・ 帯封付	1通	24.9×34.7	虫損小		(帯封上書)「津の清／かた三口預り書」		職工
165	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申銀子之事(1貫目)	文政12.4.-	今津や久兵衛(印)、請人鉄屋善右衛門(印)	糸屋お紋殿	原	切紙	1通	26.7×26.9	虫損中			利足は月8朱、入用の節元利返済	金融
166	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(15両)	弘化3.4.-	大長丸与左衛門(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	29.7×17.0				利足は月1分半、入用の節元利返済	金融 海運
167	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(5両)	弘化3.12.-	荒物屋武兵衛(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙・ 帯封付	1通	29.7×18.2			(帯封上書)「金五両／あら武／午極月」	入用の節元利返済	金融
168	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金5両預り証文)	[幕末]午.8.11	羽州能代越後屋長十郎(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・ 帯封付	1通	16.1×17.3			(帯封上書)「能代越後屋長十郎」	来月中、元利返済	金融
169	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(20両)	嘉永5.6.-	播磨屋清右衛門(印)、播磨屋正兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	縦紙・ 包紙付	1通	24.9×32.7				利足は月7朱、入用の節元利返済	金融
170-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀7貫800目受取)	[幕末]戌.11.4	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	27.8×10.9		170-1～24を一括	(裏書に錢印)	瓜豊へ米代	金融
170-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀9貫525匁受取)	[幕末]戌.11.18	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「右ノ通槌受取申候、十一廿三日 糸や与之助・鶴吉」	米新へ米代	金融
170-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀7貫500目受取)	[幕末]戌.11.19	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.9		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「大坂久宝寺町」、(裏印)「米三」	米八へ米代	金融
170-4	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀1貫980匁受取)	[幕末]戌.11.19	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.9		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「覚／表書之通槌ニ請取申候、以上／戌十一月廿二日 米分」「才」	讃正へ割木代	金融
170-5	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀4貫目受取)	[幕末]戌.11.23	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.5×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「表書之通槌ニ受取申候／戌十一月廿五日 米太」	伊勢屋嘉右衛門へ	金融
170-6	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀1貫400匁受取)	[幕末]戌.11.26	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×11.0		170-1～24を一括	(裏書)「十一廿七 米太・イセ長」	瓜豊へ米代	金融
170-7	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(8貫100目受取)	[幕末]戌.11.26	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.5×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝町」、(裏書)「十一廿八 錢忠(錢印)」	瓜豊へ米代	金融
170-8	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金117両受取)	[幕末]戌.12.10	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「瓜彦」	瓜豊へ米代	金融
170-9	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金13両受取)	[幕末]戌.12.10	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.3×10.8		170-1～24を一括	(裏貼紙)「大坂南久宝寺町式丁目」、(裏書)「表書之通槌ニ受取申候……二月十五日 近半・ふく平」	東明樽伝へ	金融
170-10	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金25両受取)	[幕末]戌.12.13	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.2×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「表書之通槌ニ受取申候、以上／戌十二月十六日 米分」「才」	讃岐庄へ割木代	金融
170-11	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀825匁受取)	[幕末]戌.12.17	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.3×10.8		170-1～24を一括	(下げ札)「大坂南久宝寺町式丁目」、(裏書)「二十口」	丸屋奎五郎へ袋代	金融
170-12	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金10両受取)	[幕末]戌.12.19	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「夫利兵衛／一、政金拾両也／右之通槌ニ受取申候、以上」	使利兵衛へ	金融
170-13	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金11両受取)	[幕末]戌.12.22	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「口藤／表書之通槌ニ受取申候」	木屋清兵衛へ米踏賃	金融

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
170-14	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金33両2步受取)	〔幕末〕戊.12.23	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「伊勢嘉」	米新へ米代	金融
170-15	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金7両受取)	〔幕末〕戊.12.23	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.5×10.9		170-1～24を一括		はり富へ水代	金融
170-16	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金105両受取)	〔幕末〕戊.12.24	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.3×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「表書之通槌二受取申候／戊十二月廿四日 淡権」「口用」	米新へ米代	金融
170-17	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金10両2步受取)	〔幕末〕戊.12.26	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「平宗小口口」	米新へ	金融
170-18	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀348匁受取)	〔幕末〕戊.12.26	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.3×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「口用」、(裏印)「淡権」	瓜豊へ米代残銀	金融
170-19	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀1貫目受取)	〔幕末〕戊.12.28	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.3×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「竹十」、(裏印あり)	木屋喜三郎へ桶代	金融
170-20	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金24両受取)	〔幕末〕亥.1.10	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.9		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「表書之通槌二受取申候／亥正月十六日 島庄」	米屋新左衛門へ米代	金融
170-21	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀669匁受取)	〔幕末〕亥.1.19	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.4×10.8		170-1～24を一括	(裏書)「表書之通銀六百六拾九……以上／亥正月廿日 米分」「竹善」	竹善へ米代	金融
170-22	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金7両受取)	〔幕末〕亥.2.16	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.5×10.9		170-1～24を一括	(裏書)「米分」	西宮はり富へ水代	金融
170-23	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀740匁受取)	〔幕末〕亥.2.21	葛城屋庄九郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	29.5×10.9		170-1～24を一括	(宛先へ付箋)「南久宝寺町式丁目」、(裏書)「伊勢嘉」	米新へ桶代	金融
170-24	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔元米・掛米値段・石高覚〕	〔幕末〕.-.-	—	—	原	切紙	1通	16.6×20.2		170-1～24を一括		瓜豊・米八・米新の記載あり。計250石、酒造米か	金融
171	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文の事(銀2貫35匁1分2厘借用、5年)	嘉永6.7.-	明神丸久米吉(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.3×24.7	虫損小			当丑～巳年、1年に407匁2厘ずつ返済	金融 海運
172-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	形見分譲一札之事(銀50貫目)	安政5.4.-	二代目いと屋忠作 八十三才	もめんやむめ・とみ・嘉蔵	写	豎紙	1通	30.1×83.5	破損小	172-1で172-2～4を包一括	(端裏書)「木綿屋嘉蔵形見銀譲り渡二付諸証文入ル」、(裏印)「大坂久太郎町堺筋東入 御菓子所都倉屋友貞製」	259の写し。50貫目は元銀として預り、利足3朱で毎月銀150目ずつを養育料として渡す。172-1～3はほぼ同文。用紙は再利用か	家 財産分 与
172-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	形見分譲一札之事(銀50貫目)	安政5.4.-	二代目いと屋忠作	富女、梅女、嘉蔵	写	豎紙	1通	27.9×40.3		172-1で172-2～4を包一括		259の写し。172-1～3はほぼ同文	家 財産分 与
172-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	形見分譲一札之事(銀50貫目)	安政5.4.-	二代目いと屋忠作	富女、梅女、嘉蔵	写	豎紙	1通	27.8×40.2	虫損小	172-1で172-2～4を包一括		259の写し。172-1～3はほぼ同文	家 財産分 与
172-4	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	形見分譲一札之事(銀50貫目)	安政5.3.-	糸屋忠作	お梅殿、お富殿、嘉蔵殿	写	切紙	1通	16.0×44.2		172-1で172-2～4を包一括		172-1～3と同意	家 財産分 与
173	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	銀子借用一札(金10両)	嘉永6.12.21	和州笛堂村半兵衛(印)・三之助(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.4×35.6				翌寅6月までに返済	金融
174	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	譲り渡シ申一札之事(建具一式、代銭4貫500文)	文化12.10.-	松屋徳兵衛(印)	平野屋久右衛門殿	原	切紙	1通	27.7×27.5					金融
175	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	借家請負状之事(雛形)	〔幕末〕.-.-	—	糸屋忠作殿	雛形	豎紙	1通	25.8×60.1	虫損小			本文中、借受人の名前、家賃銀高が空白、差出人用に余白をとる。すぐに使えるように用意したもの。134と同じ	戸口 借家

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
176	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔親類書付等要求書〕	〔江戸後期〕5.-	菅丁目	いとや様	原	切紙	1通	15.9×14.8				屋敷売買に関係するものか	町政
177	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	印鑑	嘉永2.12.-	東村八兵衛(印)、同村藤作(印)、佐井寺村弥治郎(印)、ほか6名	大和屋竹治郎殿	原	切紙	1通	28.2×31.6				文面なし。三郷周辺の村々か	戸口
178	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家質証文之事(銀33貫目)	天保4.2.-／同5.4.-	家質置主山本屋安兵衛(印)、五人組和泉屋久右衛門代判覚兵衛(印)、同近江屋与七(印)、ほか同組3名・年寄	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	26.9×138.8				北久太郎町三丁目南側山本屋安兵衛居室につき1年間、利足は月銀105匁6分。奥に年賦銀・木綿売懸出入りにより安兵衛身代限りになるも、願人・質取主相対になったことを記す	金融 家質
179	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物預り一札之事	文化14.2.-	杉原屋伊織(印)、奈良屋勘兵衛(印)	平野屋林右衛門殿	原	切紙	1通	25.0×26.5				表大戸など計6点、借家証文はなし	戸口 借家
180-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	一札之事(普請方大工仰せ付けられ、先大工への得意譲り料受取につき)	天保6.5.-	出入大工松屋伝蔵(印)、証人松屋幸助(印)	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	27.9×56.3		180-1・2を180-3で一括		得意譲り料金4両	職工 得意
180-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(得意譲渡につき金4両受取)	天保6.5.-	十九番組住吉屋喜右衛門((印))	天満貳番組松屋幸助殿	原	豎紙	1通	25.0×34.1		180-1・2を180-3で一括		得意は南久宝寺町2丁目糸屋忠作	職工 得意
180-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔天保6か〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—		180-1・2を180-3で一括	(上書)「松屋伝蔵出入一札／天保六年五月六日」		職工 得意
181	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文事(八幡丸破船につき、銀782匁8分8厘借用、6年)	嘉永4.4.-	八幡丸徳太夫(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	25.1×14.0				翌子～巳年、1年に銀130匁4分8厘ずつ返済	金融 海運
182	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀1貫目借用、10年)	天保2.2.-	未富丸仁蔵(印)、証人讃岐屋八三郎(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.7×28.2	虫損小		(端裏書)「未富丸」	翌辰～丑年、1年に銀100目ずつ返済	金融 海運
183	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀3貫32匁1分4厘借用、8年)	嘉永3.3.-	讃岐屋佐七(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.3×22.6				翌亥～午年、1年に銀379匁1厘ずつ返済	金融
184	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀2貫目借用、10年)	文政8.11.-	讃岐屋佐七(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.8×26.1			(端裏書)「讃佐」	翌戌～未年、1年に銀200匁ずつ返済	金融
185	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金18両借用)	〔江戸後期〕 未.2.-	讃岐屋佐七(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・ 帯封付	1通	27.8×18.9	虫損小		(帯封上書)「さのさ／十八両」	永福丸木綿代為替金参着次第返済	金融
186	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀7貫300目借用、25年)	弘化2.10.-	橘屋利八(印)、橘屋次兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	29.1×31.8				翌午年より、1年に銀292匁ずつ返済	金融
187-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	請負申一札之事(明石屋利兵衛借家につき)	文久4.10.-	借主明石屋利兵衛(印)、請人明石屋善兵衛(印)	薬種屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.4×41.2		187-1・2を187-3で一括	(端裏書)「六番」	南久宝寺町一丁目にある貸家、家賃銀は月71匁7厘。本来の借主は善兵衛か	戸口 借家
187-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久4.10.-	借主明石屋利兵衛(印)、請人明石屋善兵衛	薬種屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.5×41.1		187-1・2を187-3で一括	(端裏書)「六番」	家附物借用証文。表ヱリ壁・おくり戸など11点	戸口 借家
187-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔文久4か〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—	虫損小	187-1・2を187-3で一括	(上書)「明善」		戸口 借家
188-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	請負申一札之事(桜井屋孫左衛門借家につき)	文久4.10.-	請人丹波屋定兵衛(印)、借主桜井屋孫左衛門(印)	薬種屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.5×41.0	虫損小	188-1・2を188-3で一括	(端裏書)「三番」	南久宝寺町一丁目にある貸家、家賃銀は月71匁7厘	戸口 借家
188-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久4.10.-	借主桜井屋孫左衛門(印)、請人丹波屋定兵衛(印)	薬種屋喜重郎殿	原	豎紙	1通	28.6×41.1	虫損小	188-1・2を188-3で一括	(端裏書)「三番」	家附物借用証文。表半戸2枚・同5尺上店1口など12点	戸口 借家
188-3	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔帯封〕	〔文久4か〕.-.-	—	—	原	帯封	1点	—	虫損小	188-1・2を188-3で一括	(上書)「桜孫」		戸口 借家
189	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(為替手形2通預り一札、計金250両)	嘉永6.2.3	浜屋宗七(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.3×24.8				松前江差岸田七郎兵衛宛の手形、浜屋が松前表で金子を受取、上坂時に渡す予定	金融

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
190-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.1.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門(印)、かり主大鹿屋勘兵衛(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	29.4×23.1	虫損小	190-1～5を一括		借家の所在、家賃銀記載なし	戸口 借家
190-2	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.1.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門(印)、かり主河内屋浅七(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	29.3×23.0	虫損小	190-1～5を一括		借家の所在、家賃銀記載なし	戸口 借家
190-3	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.1.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門(印)、かり主和泉屋源之助(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	29.3×23.0		190-1～5を一括		借家の所在、家賃銀記載なし	戸口 借家
190-4	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.1.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門(印)、かり主山城屋幸三郎(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	29.4×23.1		190-1～5を一括		借家の所在、家賃銀記載なし	戸口 借家
190-5	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.1.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門(印)、かり主八木屋利兵衛(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	29.4×23.0		190-1～5を一括		借家の所在、家賃銀記載なし	戸口 借家
191	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(懸屋敷譲渡につき手付として銀2貫目受取)	元治1.4.-	糸屋忠作(印)	米屋忠治郎殿	原	切紙	1通	27.3×21.5					金融
192-1	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(顔見世料、年寄ほか町役人等への渡し銀、振舞料につき)	〔江戸後期か〕 未.9.-	北久太郎町三丁目年行司(印)	糸屋忠作殿	原	縦紙	1通	27.4×91.3	虫損小	192-1・2を一括	(裏書)「表書之通目出度祝納仕候、以上／十二月吉辰 年行司(印)」	糸屋忠作が北久太郎町三丁目へ転居、あるいは屋敷を購入した時のものか。奥に「家守附出銀覚」あり	町財政
192-2	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(振舞料・御為としての出銀につき)	〔江戸後期か〕 未.9.-	北久太郎町三丁目年行司(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	16.6×20.3		192-1・2を一括		糸屋忠作が北久太郎町三丁目へ転居、あるいは屋敷を購入した時のものか	町財政
193	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	家附物預り一札之事	文化14.2.-	指物屋万吉(印)、奈良屋勘兵衛(印)	平野屋林右衛門殿	原	縦紙	1通	25.3×31.0				表大戸など計8点、借家証文はなし	戸口 借家
194	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	差入申一札之事(紀州南部の親元相続のため奉公の暇乞いにつき)	安政5.10.-	奉公人弥兵衛、大坂相生橋北詰請人大谷卯七(印)	御主人いと屋忠蔵様	原	縦紙	1通	30.4×46.6	虫損小		(端裏書)「紀州みなべ酒井屋弥六倅／弥兵衛暇証文」	暇銀1貫290目・御仕着頂戴。今後糸屋と同じ商売をしない旨の念書を含む。106・255・265の六助(輔)が改名か	戸口 奉公人
195	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔書状封紙〕	〔天保15〕.7.28	若狭屋治郎吉	大坂南久宝寺町二丁目糸屋忠蔵様	原	封紙	1点	24.0×32.4			(追記)「従松前箱館」	手紙なし。奉公人留吉の親が268の寺請証文を送って来た時のものか	雑
196	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	証文手形之事(銀200目借用につき)	天保12.5.-	富福丸一太良(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	24.9×28.3	虫損小			入用の節返済	金融 海運
197	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	加入証文之事(妙栄丸廻船加入につき銀1貫200目受取)	文政13.1.-	大和屋源吉(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.0×24.8				妙栄丸(沖船頭源之助)、代銀50貫目。糸屋忠蔵は2厘5毛(2.5%)出銀で加入	商業 海運
198	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(金2歩借用につき)	天保7.9.-	布屋彦兵衛(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	28.0×8.1				入用の節返済	金融
199	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(糸屋忠蔵よりの日牌料寄付銀120匁受取)	〔江戸後期か〕 寅.10.13	起善寺(印)	斗々や三十郎様	原	切紙	1通	15.6×20.8					寺院
200	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔証文用袋〕	安政3.9.-	—	—	原	袋	1点	34.5×7.9			(上書)「不用証文并あかぬ証文入／安政三辰年九月改」	裏面の書付抹消、中身なし	雑
201	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	宗旨寺請状之事(伊勢屋藤次郎)	文久3.6.-	ト半町浄行寺印、円来寺、蓮教寺、ほか2寺	三郷家請人中	写	切紙	1通	16.4×26.3				天満西寺町前家請人引取り、西本願寺門徒	戸口 寺院
202	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(助成金2両借用につき)	天保8.4.-	会所太七(印)	糸屋忠作様	原	切紙・ 帯封付	1通	28.2×14.6			(帯封上書)「北久沓会所／金貳両／天保八酉四月」	諸色高値につき助成	町財政
203	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	〔金三両拝借につき書状〕	〔江戸後期か〕.3.10	—	—	写	切紙	1通	16.4×31.4				明日上京とあり	金融
204	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(糸屋忠蔵・武内安左衛門につき)	〔江戸後期か〕 未.7.7	—	—	原	切紙	1通	15.6×29.7				武内安左衛門に印あり	雑
205	大坂南久宝寺町木綿問屋系屋文書(糸忠)	覚(木綿計170疋受取)	弘化3.11.18	糸屋忠蔵	木綿屋嘉助殿	写	切紙	1通	16.0×32.3				白木綿・赤木綿・晒木綿	商業

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
206	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	[上金・差加追増金出精につき褒状写]	[江戸後期].-.-	—	南久宝寺町式丁目糸屋忠蔵	写	切紙	1通	18.1×28.7				天保14年の御用金か	支配金融
207	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(御畳講借用残銀を御畳料に充当の約定につき)	嘉永6.12.-	北組御畳講惣代行司小山屋兵衛(印「大坂小山金」)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	28.5×24.5	虫損中			御畳講衰微による。残銀529匁2分1厘。48と関係	金融寺院
208	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀1貫561匁9分8厘借用、5年)	嘉永6.4.-	川崎屋伝右衛門、安田屋忠蔵(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	30.5×34.4	虫損小			長寿丸(伝右衛門分)・幾久丸(忠蔵分)2件分。当丑～巳年、1年に銀312匁3分9厘ずつ返済	金融海運
209	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	廻船加入証文之事(朝田丸加入につき代銀4貫475匁受取)	天保14.3.-	讃岐屋佐七(印)	斗々屋三十郎殿	原	切紙・包紙付	1通	28.0×30.4			(包紙上書)「廻船加入証文 朝田丸／斗々屋三十郎様、(同裏)「斗々屋より預り之分」	朝田丸(沖船頭伝兵衛)は新造800石積廻船、代銀85貫500目	商業海運
210	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	加入証文之事(住吉丸廻船加入につき銀2貫60匁受取)	天保4.1.-	橘屋利八(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・包紙付	1通	27.4×30.5			(包紙上書)「住吉丸加入証文老通入／糸忠様」	住吉丸(沖船頭善八)は新造廻船、代銀82貫400目。糸屋忠蔵は40分の1出銀で加入	商業海運
211	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	廻船加入証文之事(銀1貫250匁受取)	天保6.5.-	橘屋伝八(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	27.8×30.2				廻船(沖船頭隆助)は743石積、代銀50貫目。糸屋忠作は2厘5毛(2.5%)出銀で加入	商業海運
212	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	加入証文之事(妙寿丸廻船加入につき銀1貫222匁9分6厘受取)	文政11.1.-	岡田屋平五郎代伝吉(印「大伝」)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・包紙付	1通	29.0×31.3	虫損小		(包紙上書)「糸屋忠作殿明神丸伝吉」	妙寿丸(沖船頭嘉次郎)は700石積、代銀20貫959匁2分6厘、他に3貫500目常仕出し銀。糸屋忠蔵は半口加入。内容と包紙上書と合わず	商業海運
213	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	加入証文之事(大神丸廻船加入につき銀1貫990匁9分5厘受取)	文政5.2.-	橘屋利八((印))	糸屋忠蔵殿	原	縦紙・包紙付	1通	28.5×38.0			(包紙上書)「大神丸加入証文入／糸屋忠蔵様」	大神丸(沖船頭藤八、善八乗り)は代銀79貫638匁。糸屋忠蔵は40分の1出銀で加入	商業海運
214	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(銀1貫568匁3厘借用、10年)	天保9.2.-	金毘羅新造久太郎(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	27.7×19.8	虫損小			1年に銀156匁8分ずつ返済	金融海運
215	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(代印・家守極めの出銀・請取)	[江戸後期]酉.5.-	年行事(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	23.4×28.8			(裏書)「表書之通槌二請取申候、以上／会所(印)」	南久宝寺町内に所有する屋敷の関係か	町財政
216	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申手形之事(金120両・銀5貫200目の2口)	[江戸後期]丑.12.23	いと屋忠蔵(印破棄)	播磨屋清右衛門殿	原	切紙	1通	28.6×26.0	破損小			利足は8朱、入用の節元利返済	金融
217	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	おぼへ(銀高書上)	[江戸後期か].-.-	ひら久	河内屋仁兵衛様	原	切紙	1通	16.5×44.3				和泉屋利兵衛37匁8分など13件、計銀360目	金融
218	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	年賦証文之事(金62両2歩の残金42両2歩借用、4年)	嘉永1.11.-	加州湊借り主魚屋庄五郎(印)、大坂安治川四丁目引請人川崎屋武左衛門(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙・帯封付	1通	23.2×32.0			(帯封上書)「嘉永元申年／魚屋問右衛門」	翌酉～子年、1年に10両2歩2朱ずつ返済	金融
219	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(15両)	嘉永1.10.-	預り主京屋四郎兵衛(印)	いと屋忠蔵殿	原	切紙・帯封付	1通	30.3×19.8			(帯封上書)「嘉永元申年十月／京屋四郎兵衛」	利足は月7朱、入用の節元利返済	金融
220	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(6両、4年賦)	天保8.5.-	荒物屋武兵衛(印)	糸屋忠蔵様	原	切紙・帯封付	1通	25.0×20.6	虫損中		(帯封上書)「あら武／六両預り／酉五月／四年賦」	翌戌～丑年、1年に1両2歩ずつ返済	金融
221	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(船々仕出し銀10貫500目請取)	[江戸後期]午.1.11	橘屋利八(印「請取・橘利」)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・帯封付	1通	24.5×18.7	虫損中		(帯封上書)「橘屋三艘／不用」	住吉丸・八幡丸・徳寿丸各3貫500目	海運
222	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	借家請状之事	文久3.5.-	家請人八尾屋利兵衛(印)、借り主播磨屋常吉(印)	糸屋儀蔵殿	原	切紙	1通	27.5×25.6				南久太郎町二丁目にある借家	戸口借家
223	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(帳切時の出銀・請取)	[江戸後期]酉.5.-	年行事(印)	いと屋忠蔵殿	原	縦紙	1通	23.4×59.1			(裏書)「表書之通槌請取申候、以上／会所(印)」		町財政
224	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金2歩借用)	[江戸後期]未.7.-	はりま屋伊三郎(印)	糸屋忠作様	原	切紙	1通	23.8×7.5				入用の節返済	金融
225	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金2歩借用)	[江戸後期]申.9.-	布屋彦兵衛(印)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	28.1×8.2				入用の節返済	金融
226	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀1貫目請取)	[江戸後期]戌.5.-	広寿丸政蔵(印「岡政」)、証人讃岐屋佐七(印「大坂・讃岐佐」)	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	24.5×13.7				上下1割半の利足付	金融海運

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
227	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金20両請取)	〔江戸後期西.5.3	橘や利八(印)	いと屋忠作様	原	切紙	1通	16.4×15.5				大神丸関係、仕出し銀	海運
228	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	借家受状之事	明治2.3.-	三郷家受人和泉屋藤右衛門、 かり主油屋藤兵衛(印)	薬屋喜十郎殿	原	切紙	1通	28.5×27.1	虫損小			南久宝寺町一丁目にある薬屋喜 十郎支配の借家	戸口 借家
229	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預申金子事(1両)	天保9.7.-	河内屋安兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	29.1×10.5	虫損小			入用の節返済	金融
230	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(30両)	天保8.1.-	川崎屋伝次郎(印「河崎屋」)	いと屋忠作殿	原	切紙	1通	27.4×19.1	虫損小		(帯封上書)「川崎屋伝次 郎様／卅両／不用証文」	入用の節元利返済	金融
231	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	差入申請負一札之事(其元仕 入木綿を島屋栄助へ販売に つき代銀請負)	弘化2.11.-	買主島屋栄助(印)、親類引請 人河州芝村七郎兵衛(印)	大坂いと屋忠蔵殿	原	切紙	1通	27.7×30.9	虫損小				商業
232	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	容体書(道幸清左衛門病氣に つき)	文化11.5.19	田中仲治(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	24.8×27.3				書き出しは「当浦」となっており、 患者の所在地は不明	医療
233	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	譲り渡シ申一札之事(鴨居・ 壁、代銀22匁6分)	〔江戸後期〕 子.2.12	松屋徳兵衛(印)	平野屋林右衛門殿	原	切紙	1通	24.2×17.3					金融
234	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	預り申金子之事(金2歩)	嘉永5.6.-	丁内久七(印)	糸屋忠蔵様	原	切紙	1通	24.6×17.2				入用の節返済	金融
235	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金15両借用)	天保5.1.-	塩屋治右衛門代小兵衛(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙・ 帯封付	1通	24.4×23.9			(帯封上書)「津軽塩治／ 不用」	酒買い下しのため。ほかにも40両 4か月利足あり。元利返済は4月、 飛脚による	金融 商業
236	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	差入置約定一札之事(大和屋 豊三郎家の身代向きにつき)	弘化4.2.-	大和屋安次郎印／和泉屋利兵 衛印／四屋三郎印	升屋弥兵衛様、いと屋 忠作様	写	切紙	1通	16.0×195.8				3件の「差入置約(規)定一札之 事」を続ける。262・263と関係	家 相続
237	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔書状〕(病氣軽快、商売始め たく、宅替え入用に金7両受取 につき)	〔江戸後期〕.-.-	吉次郎	御主人様	原	切紙	1通	16.1×77.0			(端裏書)「吉次郎江金七 両山新相渡申書状也」		家
238	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔包紙〕	〔江戸後期〕.-.-	—	—	原	切紙	1点	18.2×23.5			(表書)「南久宝寺町壱丁 目浜屋鋪／家請証文入」	反故紙(書状)の裏を利用	雑
239	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	一札之事(安政5年の形見証 文切替につき)	明治2.2.-	五代目いと屋忠蔵	富女、嘉兵衛	案	切紙	1通	16.6×45.0	虫損小			富女・嘉兵衛は2代目忠作と血縁 あり。260と関係	家 財産分 与
240	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	取替之分(家附物5点につき)	〔江戸後期〕 寛.8.-	—	小川屋善作殿	原	切紙	1通	15.6×25.0				借家請状に付随する附物証文の 関係か	雑
241	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(金50両請取)	〔江戸後期〕 午.1.26	橘屋利八(印)	糸屋忠蔵様	原	切紙・ 包紙付	1通	16.6×11.0			(包紙上書)「橘屋清通丸 仕出し金五拾両の受取書 也／午正月廿六日／不 用」		海運
242	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	〔包紙〕	〔江戸後期〕.-.-	—	—	原	縦紙	1点	27.1×36.0	虫損小		(包紙上書)「年賦銀并船 加入其外之……分ハ頓と あかぬ分ナリ」	反故紙の裏を利用。表は天保9年 3月2日、木綿取引算用書(糸屋忠 作より浜屋長七宛)の断簡	雑
243-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	請負申一札之事(尾張屋平兵 衛借家につき)	文久4.10.-	請人河内屋重蔵(印)、借主尾 張屋平介(印)	薬屋喜重郎殿	原	縦紙	1通	28.3×41.3	虫損小	243-1・2を 一括	(端裏書)「四番」	南久宝寺町一丁目にある貸家、 家賃銀は月70目。本文中の借主 と差出人とは少し名前が違う	戸口 借家
243-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	家附物之覚	文久4.10.-	借主尾張屋平助(印)、請人河 内屋重蔵(印)	薬種屋喜重郎殿	原	縦紙	1通	28.5×41.1	虫損小	243-1・2を 一括	(端裏書)「四番」	家附物借用証文。表送り戸・二階 敷など計10点	戸口 借家
244	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(町への出銀・請取)	〔江戸後期〕 酉.5.-	会所(印)	いとや様	原	縦紙	1通	23.3×41.6			(裏書)「表書之通髓請取 申候、以上／会所(印)」	223と関係か	町財政
245-1	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	覚(保金200両借用)	嘉永1.11.16	鹿野小四郎、請人久保彦兵 衛、同西出孫左衛門	播磨屋清七郎殿	写	縦紙	1通	24.1×39.7		245-1～4 を245-5で 包み一括		申当月～丑10月の丸5年。毎年利 足10両納め、年限満ちて元金返 済	金融
245-2	大坂南久宝寺町木綿問屋糸屋文書(糸忠)	証(金10両借用)	嘉永1.3.25	河内屋武助(印)	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	16.5×38.1		245-1～4 を245-5で 包み一括		利足は月1分、来る5月末限り元 利返済。引当として縮木綿40反	金融

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
245-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	口上(播磨屋の書付預りにつ き)	戊(嘉永3).4.11	久保彦兵衛(印)	糸屋忠蔵様	原	切紙・ 包紙付	1通	15.4×24.2		245-1～4 を245-5で 包み一括	(包紙上書)「嘉永三年四 月／久保氏受取書壹通 入」「はり清殿掛鹿野氏貳 百……保氏へ相渡し置受 取書」	鹿野氏より金子受取時の対応記 載。包紙は反故紙利用	金融
245-4	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[帯封]	(嘉永2か).-.-	—	—	原	帯封	1点	15.8×6.0		245-1～4 を245-5で 包み一括	(帯封上書)「はり清殿名 当貳百両証……口八殿六 十両証文、合貳通／嘉永 二年酉三月二日」	金200両・60両の証文2通をまとめ ていた由、60両の方は不明	金融
245-5	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[包紙]	(嘉永1か).-.-	—	—	原	切紙	1点	32.4×23.6		245-1～4 を245-5で 包み一括	(包紙上書)「証文一通入 ／はり清殿／加納氏証 文」	元は245-1を包んでいたか	金融
246	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[書状](近況報告ほか)	[江戸後期].5.28	あい、ふじ	いとや忠蔵様	原	切紙・ 封紙付	1通	16.3×156.9			(封紙上書)「吉次郎金七 両受取書状／山新殿へ渡 口／フンゴの書状」	差出人は他国(豊後か)にいる親 族の女性。書状は略封なので、封 紙(反故紙利用)は後のもの。吉 次郎の金子受取書状は237か	家 生活
247	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[書状](清通丸行き木綿受 取、他4艘分の取扱いにつき)	[江戸後期].1.21	橘屋利八	糸屋忠蔵様	原	切紙	1通	16.1×39.8				八幡丸・住吉丸・徳寿丸・大神丸 の名あり。油町との関係も窺われ る	商業 海運
248	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(御影丸船頭庄三郎死去に より借銀出入につき)	[江戸後期].-.-	(糸屋忠作)	—	案	切紙	1通	15.3×32.7				相手は田辺屋仁右衛門で、御影 丸の船主。下済になる	金融 海運
249	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(銀27貫500目の内訳)	[江戸後期].-.-	南久宝寺町貳丁目糸屋忠蔵	—	原	切紙	1通	15.8×15.2				附物代、売渡・帳切とあり、家屋 代か	金融
250	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(清通丸正綿仕出し銀2貫 目受取)	[幕末か]子.2.-	橘屋利八((印))	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	16.3×17.5			(裏書)「表書之内／一、 銀五百目 寅…／…同五 百目 子十月相渡ス」		商業 海運
251	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(住吉丸仕出し銀2貫目受 取)	[幕末か]酉.6.25	橘屋利八((印))	糸屋忠作殿	原	切紙	1通	16.1×22.2					商業 海運
252	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(屋敷付物譲渡証文、代金 2歩)	文化12.11.-	奈良屋勘兵衛(印)	平野屋久右衛門殿	原	切紙	1通	24.3×25.2				2間半縁屋根・雪隠・1間余塀など 4品	金融
253	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	御形見分請書一札之事	安政5.3.-	お梅、お富、嘉蔵	糸屋忠作様	写	切紙	1通	16.1×45.1				172に関係	家 財産分 与
254-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(代印家守出銀につき)	[江戸後期].5.27	会所	いとや様	写	切紙	1通	15.9×31.0		254-1～5 を254-6に 収める			町財政
254-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	覚(金50両受取)	[江戸後期] 午.5.5	糸忠(印)	木綿嘉様	原	切紙	1通	15.9×12.6		254-1～5 を254-6に 収める			商業 金融
254-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[覚](橘屋利八金子受取書に つき)	[江戸後期].-.-	—	—	原	切紙	1通	16.3×10.5		254-1～5 を254-6に 収める		大神丸分20両受取(酉5月3日 分)。受取書の帯封の一部か	商業 海運
254-4	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[横帳外れ](忠蔵代替りの記 載あり)	[江戸後期] 子.7.14	—	—	原	横帳外 れ	1点	13.0×38.7		254-1～5 を254-6に 収める		4月8日養子忠三郎改名、3代目忠 蔵真武となり、先忠蔵は忠作と改 名	家
254-5	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[覚](縁・目貫・栗形・鰐など 金額書上)	[近代].-.-	—	—	原	切紙	1点	16.0×54.2		254-1～5 を254-6に 収める		金額は円・銭表示。朱字	雑
254-6	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[袋](「勘定帳」)	弘化3.12.29	いと屋吉兵衛	—	原	袋	1点	22.2×13.0	破損中	254-1～5 を254-6に 収める	(袋裏)「十二月大晦日改」	横帳反故紙で作成。元は別家糸 屋吉兵衛のもので、258の袋	商業
255-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	[書状](倅六助奉公に上がり 寺請状・村役人請状送付につ き)	(弘化4).4.11	酒井屋弥六	糸屋御隠居様	原	切紙	1通	16.3×99.4		255-1～3 を255-4で 巻一括		255-1～3で一体。106・265と関係	戸口 奉公人

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法 (cm)	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
255-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔書状再敬〕(旦那様へ宜しく 取り成し願ひ)	(弘化4.4.11)	(酒井屋弥六)	(糸屋御隠居様)	原	切紙	1点	16.2×16.2		255-1～3 を255-4で 巻一括		255-1～3で一体	戸口 奉公人
255-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔書状再敬〕(月日貝10個送り 状)	(弘化4.4.11)	(酒井屋弥六)	(糸屋御隠居様)	原	切紙	1点	16.2×9.2		255-1～3 を255-4で 巻一括		255-1～3で一体	戸口 奉公人
255-4	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	〔書状封紙〕	(弘化4).4.11	従南郡酒井屋弥六	大坂糸屋御隠居様	原	封紙	1点	24.0×33.2		255-1～3 を255-4で 巻一括	(表書脇付)「手形式通 入」、(追記)「紀州南郡六 助持手形并…日出、寺と 村と式通在中」	現状では255-1～3を巻いて束ね る	戸口 奉公人
256	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	津村御坊御助成月掛懇志通	嘉永1.5.- (～同 2.3.-)	世話方(印)	〔糸屋〕	原	折紙	1通	32.5×43.9	虫損小		(表紙追記)「四之八」	津村御坊は北御堂の本願寺津村 別院。1か月100文宛、10か月分 寄付。釈宗祐(文化3年7月22日 没、糸屋忠蔵)の記名あり	家 寺院
257	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	弘化二乙巳年七月勘定帳	弘化2.7.(15改)	(いと屋作兵衛)	—	原	横帳	1冊	12.2×34.2			(裏表紙)「いと屋作兵衛」	別家の糸屋作兵衛家に関する文 書。木綿の反数と値段書上げと 「正之物」「疋物」、その後に取引 先ごとの「懸残高」、および「在銀」 あり、三口合計銀47貫297匁1分3 厘。「借」が44貫263匁6分7厘で、 差引残高3貫33匁4分6厘	商業
258	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	弘化三丙午極月大晦日勘定 帳　いと屋吉兵衛	弘化3.12.29(同 4.1.2改)	(いと屋吉兵衛)	—	原	横帳	1冊	11.9×32.7				別家の糸屋吉兵衛家に関する文 書。反故紙の裏を利用。元は254- 6の袋入り。「越年残物」「正味物」 「懸銭」「借」「在」と区分。差引残 高は銀17貫961匁5分9厘	商業
259	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	形見分譲り一札之事(銀50貫 目)	安政5.4.-	二代目いと屋忠作(印)八十三 才之時	富女、梅女、嘉蔵	原	縦紙	1通	30.0×68.8				172の原本	家 財産分 与
260	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	一札之事(形見証文切替につ き)／〔原資・助成金受取証 書〕	明治2.2.-／(裏) 同10.9.18	五代目いと屋忠作(印)／(裏) 大和国式大区四小区竜田村岡 田嘉造(印)	富女、嘉兵衛／(裏)竹 田忠作殿	原	縦紙	1通	29.1×48.6			(裏書)「表書之金員是迄 二不残……、為後日之証 書依而如件」	裏に1銭印紙貼付。形見残金150 両につき証文切替と、8年後に元 金と助成金10円受取	家 財産分 与
261	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	御形見分請書一札之事(銀50 貫目)	安政5.4.-	むめ(印)、とみ(印)、嘉蔵(印)	御本家いと屋忠作様、 御代々御相続人様	原	縦紙	1通	24.8×101.0	虫損小			259の請書	家 財産分 与
262	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	取締頼一札之事(大和屋豊三 郎家の相続方につき)	嘉永1.5.-	先之豊三郎後家大和屋しゆん 代判伊助(印)、同八重(拇 印)、和泉屋利兵衛(印)、ほか 1名	升屋弥兵衛殿、糸屋忠 作殿	原	縦紙	1通	28.0×85.2	虫損小			宛先2名は大和屋と懇意。大和屋 は豊三郎の身持ち悪く和泉屋へ 引取らせ、女名前にて相続。家計 も含め今後の仕法立てを依頼	家 相続
263	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	申合ヶ条書之事(大和屋豊三 郎家の相続方につき)	嘉永1.5.-	大和屋しゆん代判伊助(印)、 娘八重(拇印)、和泉屋利兵衛 (印)、ほか6名	升屋弥兵衛殿、糸屋忠 作殿	原	縦紙	1通	27.9×216.3	虫損小			法度順守、質素儉約、親類和合、 貸家家賃・貸銀利足の扱い、取 引・帳面勘定の立会い、衣食儉 約、日々3食は家内連座のこと、 家業出精など、9か条	家 相続
264	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	奉公人受状之事(吉次郎、1 年)	文政10.12.-	奉公人引受人山本屋新八 (印)、同親江州八日市村近江 屋治兵衛(印)	いと屋忠蔵殿	原	縦紙	1通	27.5×64.6	虫損小			給銀150目、奉公延長可	戸口 奉公人
265	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	稼一札之事(六助、糸屋忠蔵 方にて奉公につき)	弘化4.4.-	紀州日高郡南部ノ庄北道村庄 屋宮本嘉右衛門(印)	大坂堺筋南久宝寺町式 丁目御役人衆中	原	縦紙・ 包紙付	1通	27.5×38.6			(包紙上書)「稼手形　紀 州日高郡南部北道村」	北道村弥六倅、12歳。255と関係	戸口 奉公人
266	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	寺請証文一札之事(太吉)	文政5.-.-	越前敦賀郡赤崎浦玉祥寺(印)	御役人衆中	原	縦紙・ 包紙付	1通	28.2×40.1	虫損小		(包紙上書)「奉公人請状 并寺請書　敦賀瓦屋庄五 郎ノ大坂糸屋忠蔵様」	禅宗、越前敦賀郡舞崎村庄五郎 倅	戸口 寺院 奉公人
267	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書(糸忠)	御説一札之事(目触りの勤め 方にて暇を出されたことにつ き)	嘉永7.5.-	奉公人清助(印)、親増田屋安 右衛門(印)、請人津ノ国屋由 兵衛(印)	御主人様	原	縦紙	1通	30.8×49.2	虫損小			「御別家利兵衛様」の執成しで容 赦	奉公人

資料 番号	古文書名	標題	年代	差出・作成者	宛所	原・ 写・ 案	形状	数量	寸法（cm）	欠損状 況	一括状況	裏書・端裏書・包紙上書 など	説明・注記	主題
268	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	一札（留吉、大坂へ出稼ぎに つき寺請証文）	天保15.7.28	奥州松前箱館実行寺（印）	大坂諸寺院中	原	豎紙	1通	28.1×40.3				日蓮宗、大町百姓次郎吉倅	戸口 寺院
269	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	親類請状一札之事（借家請 状）	慶応4.6.-	家借り主丸屋利助（印）、安堂 寺町五丁目親類引請人丸屋伊 八（印）	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	29.6×52.1	虫損小			家賃金は月3歩2朱	戸口 借家
270	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	廻船加入証文之事（代銀1貫 463匁7分受取）	天保10.4.-	大和屋源吉（印）	糸屋忠作殿	原	豎紙	1通	28.4×36.5	虫損小			廻船（沖船頭伝吉）は447石積、代 銀58貫548匁2分。糸屋忠作は2厘 5毛（2.5%）出銀で加入	商業 海運
271	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	引取申一札之事（借家人丹波 屋六兵衛・てる）	文政6.5.-	伊予屋惣右衛門（印）	糸屋忠蔵殿	原	切紙	1通	26.9×26.5	虫損小			糸屋忠蔵の貸家より住人夫婦を 引取り	戸口 借家
272	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	船賃物指入申証文之事（銀 350目借用）	文化6.3.5	備前和気郡友廻村船主大坂屋 甚助（印）、倅同甚三郎（印）、 受人升屋与三太郎（印）、ほか 船宿の人名なし	いと屋忠蔵殿	原	豎紙	1通	28.0×78.9	虫損小			質物は100石積廻船1艘（諸道具 共）。利足は銀100目につき月1匁 5分。翌年2月限り元利返済。それ までは船役勤め、勝手に運航	金融 船賃 海運
273-1	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	遺言書	明治17.10.-	成田善兵衛（印）	御同行中様、今西善蔵 様、塩井とく様、浜田元 七殿	原	罫紙綴 り	1通	22.6×16.0		273-1・2を 273-3で封 じる		養子卯助へ仕分け金500円、家名 相続は長女くに	家 相続
273-2	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	記（遺言高500円ほか計算）		—	—	原	切紙	1点	16.2×21.9		273-1・2を 273-3で封 じる		合計金1001円50銭	家 相続
273-3	大坂南久宝寺町木綿問 屋糸屋文書（糸忠）	〔遺言書封紙〕	（明治17.10.-）	善兵衛（印）	竹田忠作殿、宮崎弥三 郎殿、八木弥兵衛殿、ほ か4名	原	封紙	1点	25.1×34.5		273-1・2を 273-3で封 じる	（封紙上書）「遺言書 善 兵衛／死後一七日ニ裏書 之御……会之上開封可被 下候事」		家 相続